

住民アンケート 調査結果について

令和2年（2020年）12月24日
能勢町



能勢PR キャラクター
「お浄・るりりん（アマビエver）」

1. 調査概要・回答状況

■ 調査実施概要

【調査方法】

- ・ 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収（6ヶ月以上在住者対象、地区別・年代別・性別に能勢町の人口構成に応じて均等抽出）

【調査対象者】

- ・ 能勢町在住の16歳以上の町民

【調査規模】

- ・ 能勢町全域で1,800部郵送、回収率30%（540部）を想定
以下に示す地域ごとに900部郵送
 - ・ 西地域（天王地区、岐尼地区、久佐々地区）
 - ・ 東地域（歌垣地区、田尻地区、東郷地区）

府立豊中高校能勢分校の生徒を対象に
学校にて調査票を配布・回答（計59部）

【調査時期】

- ・ 令和2年（2020年）10月8日（木）～10月26日（月）

■ アンケート調査内容

- ① 普段の外出状況について
- ② 普段の移動における満足度について
- ③ 能勢町内の公共交通（路線バス等）の利用状況について
- ④ 公共交通空白地有償運送と福祉有償運送の利用状況や改善による利用意向について
- ⑤ 公共交通の税負担に関する意識について
- ⑥ 新たな交通システムの利用意向について
- ⑦ 将来における外出について
- ⑧ 能勢町での暮らしやすさ、居住意向について
- ⑨ 能勢町の取組みについて
- ⑩ 個人属性の把握

第6次能勢町総合計画策定に係る
住民アンケートの調査項目

1. 調査概要・回答状況

【参考】地域区分



西地域	天王地区	天王
	岐尼地区	上杉、平野、稲地、森上、今西、神山、長谷、垂水、山田、上山辺、東山辺
	久佐々地区	宿野一区、宿野二区、宿野三区、宿野四区、宿野北区、宿野みどり区、宿野東区 大里、柏原、栗栖、片山、平通、松風台、下田
東地域	歌垣地区	嘉村、西村、上村、長尾、和田、吉野、山内、杉原
	田尻地区	田尻上、田尻中、田尻下
	東郷地区	地黄北、地黄南、野間中、野間稲地、野間出野、野間大原、野間西山

1. 調査概要・回答状況

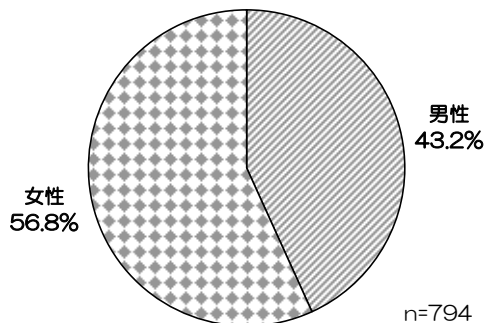
■ 回答状況

- 回答部数は841票（うち59票は府立豊中高校能勢分校の生徒）、回答率は45.2%である。
- 回答者の平均年齢は60.2歳であり、高齢者及び10年以内に高齢者となる世代の割合が高いアンケートデータである。

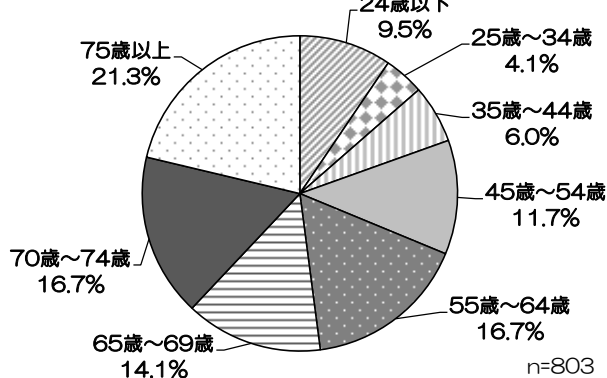
●能勢町の人口構成に対する回答部数

路線	地区	対象地域 性別・年齢別・地区別人口 (令和2年(2020年)4月1日現在)									住民アンケート回答者の状況								住民アンケート回答者が 調査対象地域の人口に占める割合										
		男性				女性				計	男性				女性				未 回答	回答部 数合計	男性				女性				計
		16~ 54歳	55~ 64歳	65~ 74歳	75歳 以上	16~ 54歳	55~ 64歳	65~ 74歳	75歳 以上		16~ 54歳	55~ 64歳	65~ 74歳	75歳 以上	16~ 54歳	55~ 64歳	65~ 74歳	75歳 以上			16~ 54歳	55~ 64歳	65~ 74歳	75歳 以上					
西地域	天王地区	17	8	17	13	26	8	19	18	126	0	0	0	1	1	0	1	0	1	4	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	0.0%	5.3%	0.0%	3.2%
	岐尼地区	435	180	260	185	395	180	241	268	2,144	20	11	22	11	27	9	21	12	5	138	4.6%	6.1%	8.5%	5.9%	6.8%	5.0%	8.7%	4.5%	6.4%
	久佐々地区	823	391	465	314	810	397	445	445	4,090	31	16	36	27	45	20	39	24	6	244	3.8%	4.1%	7.7%	8.6%	5.6%	5.0%	8.8%	5.4%	6.0%
東地域	歌垣地区	154	67	111	77	170	68	116	123	886	11	10	21	11	24	15	21	12	5	130	7.1%	14.9%	18.9%	14.3%	14.1%	22.1%	18.1%	9.8%	14.7%
	田尻地区	139	47	89	67	115	60	84	101	702	14	4	13	10	14	12	14	12	7	100	10.1%	8.5%	14.6%	14.9%	12.2%	20.0%	16.7%	11.9%	14.2%
	東郷地区	180	79	123	93	174	84	118	156	1,007	8	12	14	11	18	13	26	18	6	126	4.4%	15.2%	11.4%	11.8%	10.3%	15.5%	22.0%	11.5%	12.5%
未回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	5	5	5	20	7	12	12	19	99	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		1,748	772	1,065	749	1,690	797	1,023	1,111	8,955	98	58	111	76	149	76	134	90	49	841	-	-	-	-	-	-	-	-	-
割合		20%	9%	12%	8%	19%	9%	11%	12%	100%	12%	7%	13%	9%	18%	9%	16%	11%	6%	100%	5.6%	7.5%	10.4%	10.1%	8.8%	9.5%	13.1%	8.1%	9.4%
		48%				52%					41%				53%														

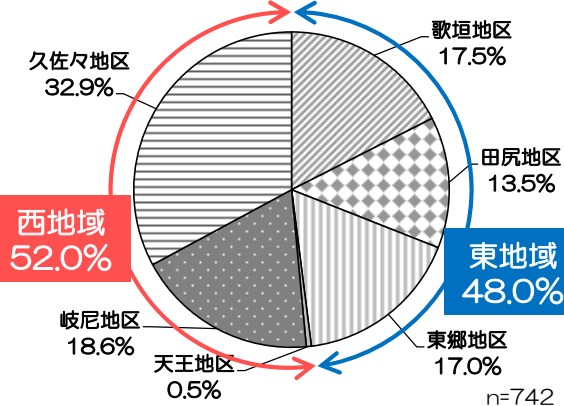
●回答者の性別



●回答者の年齢



●回答者の住まいの地域



【サンプル数の見方について】
・基数となるべき実数は「n」（回答者数）、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としている。

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

2. 回答者属性

■ 回答者属性 (1/2)

- 普段の外出状況を年齢別に見ると、「週に6~7日」外出する方は25歳~54歳の約58%に対して、65歳~69歳が約21%、70歳~74歳が約15%、75歳以上が約11%であり、高齢になるにつれて割合が低い。
- 自動車の保有状況を年齢別に見ると、「自動車（自分で運転する）」は24歳以下の方の約17%に対して、70歳~74歳の方が約79%、75歳以上の方が約52%と高く、「持っていない」は75歳以上の方で約23%である。
- 運転免許証の保有状況を年齢別に見ると、「自動車」運転免許証は、25歳以上の方で保有割合が高く、75歳以上の方が約55%を占める。「持っていない」は24歳以下が約65%と最も多く、次いで75歳以上が36%である。

●外出頻度（年齢別）

	週に 6~7日	週に 4~5日	週に 2~3日	週に1日	2週間に 1日	3週間に 1日	1か月に 1日	2か月に 1日未満
全体(n=807)	32%	18%	31%	12%	3%	0%	2%	1%
24歳以下(n=74)	47%	15%	18%	11%	7%	0%	1%	1%
25歳~54歳(n=170)	58%	16%	16%	5%	3%	1%	0%	1%
55歳~64歳(n=131)	41%	26%	20%	10%	2%	0%	1%	0%
65歳~69歳(n=112)	21%	28%	38%	10%	3%	0%	1%	1%
70歳~74歳(n=132)	15%	20%	48%	12%	2%	0%	0%	3%
75歳以上(n=160)	11%	11%	42%	21%	4%	2%	8%	2%

●自動車等の保有状況（年齢別）

	自動車 (自分で運 転する)	自動車 (家族が 運転する)	自動二 輪・原付	自転車	その他	持って いない	総計
全体(N=1093、n=815)	73%	26%	10%	15%	1%	10%	134%
24歳以下(N=106、n=76)	17%	41%	24%	49%	0%	9%	139%
25歳~54歳(N=259、n=172)	88%	26%	14%	16%	1%	6%	151%
55歳~64歳(N=180、n=132)	91%	22%	10%	10%	0%	4%	136%
65歳~69歳(N=154、n=112)	90%	26%	6%	13%	0%	2%	138%
70歳~74歳(N=174、n=131)	79%	22%	11%	11%	2%	8%	133%
75歳以上(N=187、n=163)	52%	27%	4%	8%	1%	23%	115%

※複数回答（自動車等の保有状況）

●運転免許証の保有状況（年齢別）

	自動車	自動二 輪・原付	その他	運転免許 証を自主 返納した	持って いない	総計
全体(N=986、n=817)	74%	23%	1%	3%	19%	121%
24歳以下(N=81、n=74)	16%	27%	0%	1%	65%	109%
25歳~54歳(N=226、n=172)	89%	33%	2%	0%	8%	131%
55歳~64歳(N=168、n=132)	90%	29%	2%	2%	5%	127%
65歳~69歳(N=136、n=112)	89%	22%	2%	3%	5%	121%
70歳~74歳(N=155、n=131)	85%	21%	1%	2%	11%	118%
75歳以上(N=184、n=165)	55%	12%	1%	7%	36%	112%

※複数回答（運転免許証の保有状況）

2. 回答者属性

■ 回答者属性 (2/2)

- 同居人の状況を年齢別に見ると、「未就学児と同居」や「小学生と同居」は、25歳～54歳の方（子育て世代を含む世代）が多く、「移動が困難な家族と同居」は、25歳以上の世代で約2割前後を占める。「一人暮らし」は、70歳以上の方で他世代に比べてやや多い。
- 歩行可能な距離を年齢別に見ると、「長い距離（概ね1km）を歩くのがつらい」は65歳以上の世代で多くなり、「歩行困難」は75歳以上で約14%を占める。

●同居人の状況（年齢別）

	未就学児 と同居	小学生と 同居	移動が困 難な家族 と同居	一人暮ら し	いずれに も該当しな い	総計
全体 (N=814、n=792)	5%	7%	17%	10%	64%	103%
24歳以下 (N=78、n=75)	9%	16%	8%	1%	69%	104%
25歳～54歳 (N=184、n=171)	12%	16%	19%	3%	57%	108%
55歳～64歳 (N=131、n=128)	3%	1%	21%	10%	67%	102%
65歳～69歳 (N=109、n=108)	4%	4%	19%	10%	65%	101%
70歳～74歳 (N=127、n=125)	2%	5%	14%	17%	65%	102%
75歳以上 (N=155、n=155)	3%	1%	15%	17%	65%	100%

※複数回答（同居人の状況）

●歩行可能な距離（年齢別）

	長い距離 でも問題 なく歩ける	長い距離 を歩くのが つらい	歩行困難	総計
全体 (n=806)	74%	22%	4%	100%
24歳以下 (n=76)	84%	14%	1%	100%
25歳～54歳 (n=171)	89%	10%	1%	100%
55歳～64歳 (n=131)	86%	14%	0%	100%
65歳～69歳 (n=111)	69%	27%	4%	100%
70歳～74歳 (n=130)	76%	22%	2%	100%
75歳以上 (n=159)	46%	40%	14%	100%

※長い距離：概ね1km

3. 普段の外出状況

平日の外出状況 (1/3)

○ 主な外出先を見ると、「能勢町内」が約67%を占め、内訳を見ると「ショッピングスクエア ノセボックス」が約30%と最も多く、次いで「ジャパン能勢店」が約14%を占める。町外は、「兵庫県川西市」、「兵庫県猪名川町」の順でともに10%未満である。

●主な外出先の内訳

主な外出先	回答数	割合
能勢町内	546	67%
ショッピングスクエア ノセボックス	243	30%
ジャパン能勢店	114	14%
能勢町観光物産センター	25	3%
能勢町国民健康保険診療所	11	1%
役場・浄るりシアター・生涯学習センター(図書室)	10	1%
野間の大げやき	5	1%
保健福祉センター	2	0%
その他能勢町内	126	15%
(未回答)	10	1%
隣接市町	184	22%
兵庫県川西市	77	9%
兵庫県猪名川町	49	6%
豊能町	32	4%
京都府亀岡市	23	3%
兵庫県丹波篠山市	2	0%
(未回答)	1	0%
その他大阪府内	76	9%
大阪市	28	3%
その他大阪府内	46	6%
池田市	15	2%
豊中市	13	2%
箕面市	8	1%
高槻市	3	0%
茨木市	2	0%
吹田市	1	0%
摂津市	1	0%
寝屋川市	1	0%
(未回答)	2	0%
(未回答)	2	0%

主な外出先	回答数	割合
その他兵庫県内	12	1%
その他兵庫県内	10	1%
宝塚市	3	0%
尼崎市	3	0%
三田市	2	0%
伊丹市	1	0%
(未回答)	1	0%
神戸市	2	0%
その他府県	3	0%
滋賀県	1	0%
京都府	1	0%
(未回答)	1	0%
合計	821	100%

●その他能勢町内の内訳

府立豊中高等学校能勢分校	27
福祉施設等	14
なごみ苑(生活介護事業所:大里)	3
デイサービス施設(場所未記入)	2
大里荘(共同生活援助事業所:森上)	2
特別養護老人ホーム青山荘(平通)	2
夢来人 むらびとの家(森上)	2
あい愛ケアプランニング(デイサービス施設:下田)	1
ほのほの(デイサービス施設:下田)	1
陽だまり(サービス付き高齢者向け住宅:下田)	1
コメリ能勢店(ホームセンター)	11
ファミリーマート(コンビニエンスストア)	11
勤務先	9
勤務先	5
勤務先(倉垣)	1
勤務先(森上)	1
勤務先(上田尻)	1
勤務先(野間中)	1
診療所等	9
奥井医院(平通)	5
にしうら内科外科クリニック(平通)	2
森川医院(今西)	1
ふくやま歯科(平野)	1
農産物直売所等	6
能勢けやきの里(東郷)	5
田尻農産販売所「よっといで田尻」	1
教育施設等	5
学校	2
町立のせ保育所	2
町立みどり丘幼稚園	1
金融機関・郵便局	2
JA大阪北部 能勢支店	1
郵便局・池田泉州銀行 能勢支店	1
その他	21
町内各地	3
倉垣	3
日本イエスキリスト教団歌垣教会	2
北摂協同農場(山辺)	2
上田尻	1
下田尻	1
田尻	1
森上	1
片山	1
本瀧寺(野間中)	1
旧歌垣小学校	1
町内の店	1
ヘアースタイル・美容院	1
自治会館	1
自宅付近にて農作業	1
(未回答)	11
合計	126

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 普段の外出状況

平日の外出状況 (2/3)

- 外出目的を年齢別に見ると、「通勤」は25歳～54歳が約54%、「通学」は24歳以下が約47%、「買い物」が55歳以上の世代で50%以上を占める。「通院」は75歳以上が約26%と最も多く占める。
- 外出目的を主な外出先別に見ると、「ショッピングスクエア ノセボックス」及び「ジャパン能勢店」では買い物目的の割合が高く、「兵庫県川西市」及び「兵庫県猪名川町」は買い物目的の割合が最も高く、次いで通勤である。
- 出発時間帯を外出目的別に見ると、「通勤・通学」は7～8時台、「買い物」は10時台、「通院」は8～9時台がピークであり、帰宅時間帯では、「通勤・通学」は18～19時台、「買い物」は11～12時台及び15～17時台、「通院」は11～12時台及び15時台がピークである。

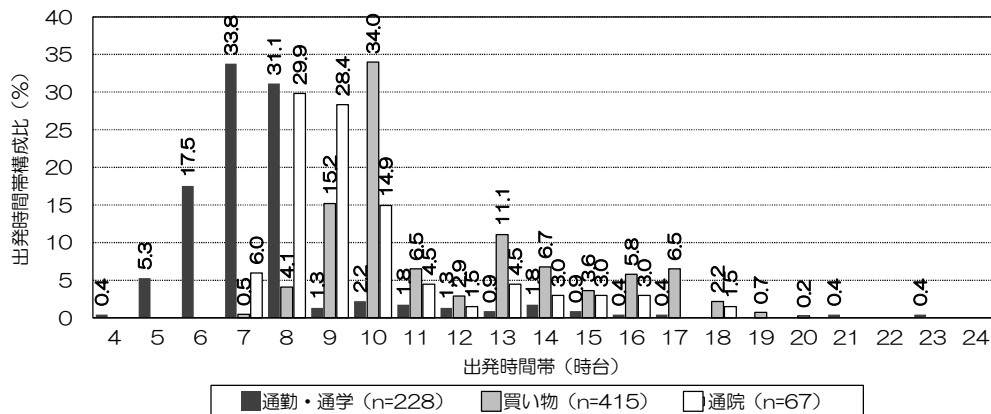
●外出目的 (年齢別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体 (n=821)	24%	5%	53%	9%	2%	7%	100%
24歳以下 (n=76)	8%	47%	33%	1%	5%	5%	100%
25歳～54歳 (n=170)	54%	1%	38%	5%	0%	4%	100%
55歳～64歳 (n=132)	37%	1%	51%	3%	2%	7%	100%
65歳～69歳 (n=113)	20%	0%	66%	4%	2%	8%	100%
70歳～74歳 (n=134)	13%	0%	69%	8%	1%	9%	100%
75歳以上 (n=162)	2%	1%	56%	26%	4%	12%	100%

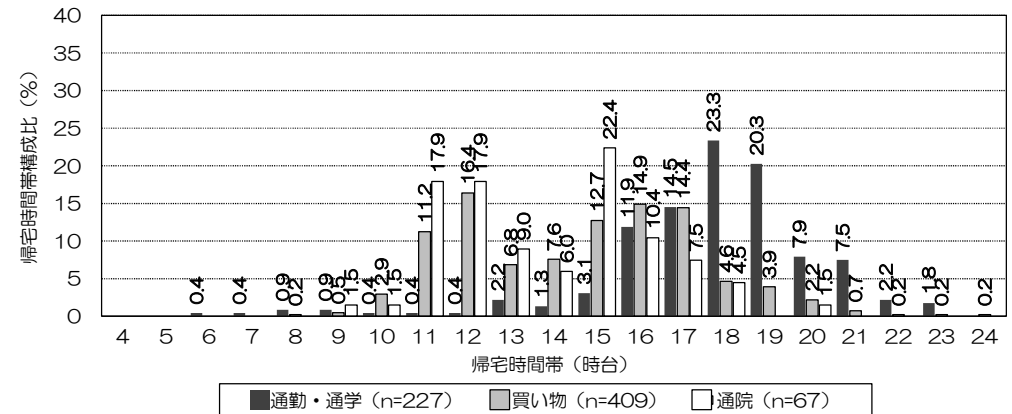
●外出目的 (主な外出先別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体 (n=821)	24%	5%	53%	9%	2%	7%	100%
能勢町内							
ショッピングスクエアノセボックス (n=240)	8%	0%	78%	10%	1%	3%	100%
ジャパン能勢店 (n=114)	14%	3%	75%	5%	1%	2%	100%
隣接市町							
兵庫県川西市 (n=75)	27%	0%	49%	13%	4%	7%	100%
兵庫県猪名川町 (n=49)	24%	2%	71%	0%	0%	2%	100%
豊能町 (n=32)	44%	3%	44%	0%	0%	9%	100%
大阪府内							
大阪市 (n=28)	89%	4%	4%	0%	0%	4%	100%

●出発時間帯 (外出目的別)



●帰宅時間帯 (外出目的別)



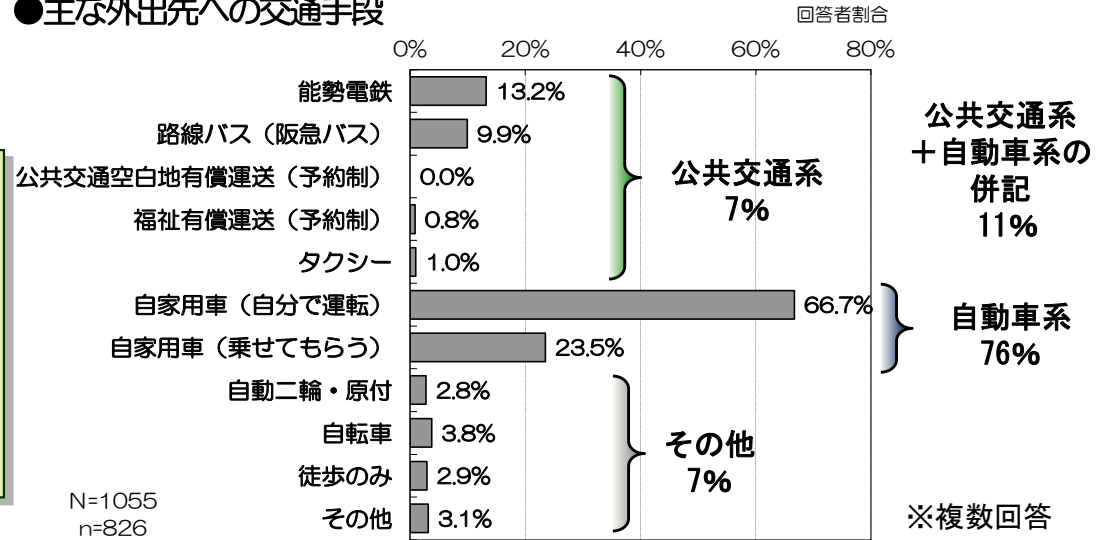
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 普段の外出状況

平日の外出状況 (3/3)

- 主な外出先への交通手段は、自動車系（自家用車（自分で運転＋乗せてもらう））が約76%、公共交通系＋自動車系の併記が約11%を占める。
- 主な外出先への交通手段を主な外出先別に見ると、能勢町内は自動車系が約76%～約88%、隣接市町は自動車系が約66%～約94%、大阪市は公共交通系＋自動車系の併記が約57%を占める。

●主な外出先への交通手段



●主な外出先への交通手段（主な外出先別）

	よく行く外出先への交通手段						
	能勢電鉄	路線バス （阪急バス）	公共交通 空白地 有償運送 （予約制）	福祉 有償運送 （予約制）	タクシー	自家用車 （自分で運 転）	自家用車 （乗せても らう）
全体 (N=1055、n=826)	13%	10%	0%	1%	1%	67%	23%
能勢町内	ショッピングスクエア ノセボックス (N=319、n=241)	15%	12%	0%	1%	2%	29%
	ジャパン能勢店 (N=135、n=113)	6%	9%	0%	0%	1%	23%
	兵庫県川西市 (N=111、n=77)	23%	22%	0%	3%	3%	13%
隣接市町	兵庫県猪名川町 (N=54、n=49)	4%	4%	0%	0%	0%	20%
	豊能町 (N=40、n=32)	9%	3%	0%	0%	0%	19%
	大阪市 (N=60、n=28)	71%	21%	0%	0%	0%	7%

※ 公共交通系、自動車系、公共交通系＋自動車系の併記、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

	よく行く外出先への交通手段					代表交通手段分担率				
	自動 二輪 ・原付	自転車	徒歩のみ	その他	総回答数	自動車系	公共交通系＋自動車系の併記	公共交通系	その他	
全体 (N=1055、n=826)	3%	4%	3%	3%	128%	76%	11%	7%	7%	
能勢町内	ショッピングスクエア ノセボックス (N=319、n=241)	3%	3%	2%	1%	132%	76%	11%	9%	4%
	ジャパン能勢店 (N=135、n=113)	3%	3%	1%	2%	119%	88%	6%	4%	2%
	兵庫県川西市 (N=111、n=77)	1%	1%	0%	5%	144%	66%	17%	14%	3%
隣接市町	兵庫県猪名川町 (N=54、n=49)	0%	0%	4%	0%	110%	94%	4%	2%	0%
	豊能町 (N=40、n=32)	3%	0%	0%	6%	125%	88%	9%	0%	3%
	大阪市 (N=60、n=28)	7%	7%	4%	18%	214%	25%	57%	14%	4%

※複数回答（主な外出先への交通手段）

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 普段の外出状況

■ 休日の外出状況 (1/3)

○ 主な外出先を見ると、「能勢町内」が約52%を占め、内訳を見ると「ショッピングスクエア ノセボックス」が約26%と最も多く、次いで「ジャパン能勢店」が約14%を占める。町外は、「兵庫県川西市」が約16%、「兵庫県猪名川町」が約11%を占める。

● 主な外出先の内訳

主な外出先	回答数	割合
能勢町内	406	52%
ショッピングスクエア ノセボックス	199	26%
ジャパン能勢店	108	14%
能勢町観光物産センター	18	2%
役場・淨るリンター ・生涯学習センター(図書室)	4	1%
野間の大けやき	4	1%
能勢町国民健康保険診療所	2	0%
その他能勢町内 (未回答)	69	9%
隣接市町	290	37%
兵庫県川西市	125	16%
兵庫県猪名川町	87	11%
京都府亀岡市	48	6%
豊能町	18	2%
兵庫県丹波篠山市	4	1%
京都府南丹市	2	0%
(未回答)	6	1%
その他大阪府内	61	8%
大阪市	32	4%
その他大阪府内	28	4%
箕面市	10	1%
池田市	5	1%
豊中市	5	1%
吹田市	3	0%
高槻市	1	0%
(未回答)	4	1%
(未回答)	1	0%

● その他能勢町内の内訳

コメリ能勢店(ホームセンター)	18
ファミリーマート	12
農産物直売所	6
能勢けやきの里(東郷)	5
田尻農産販売所「よっといで田尻」	1
自宅・自宅周辺	7
自宅	5
自宅周辺	1
田んぼ	1
福祉施設等	2
大里荘(共同生活援助事業所:森上)	1
特別養護老人ホーム青山荘(平通)	1
その他	14
日本イエスキリスト教団歌壇教会	2
北摂協同農場(山辺)	2
アートレイクゴルフ倶楽部(野間西山)	2
みちくさ能勢 農家民宿(地黄)	1
稲地	1
町立国体記念スポーツセンター(山内)	1
府立豊中高校能勢分校	1
勤務先	1
町内の店	1
町内各地	1
友人宅	1
(未回答)	10
合計	69

主な外出先	回答数	割合
その他兵庫県内	12	2%
その他兵庫県内	11	1%
宝塚市	4	1%
伊丹市	3	0%
三田市	2	0%
丹波市	1	0%
(未回答)	1	0%
神戸市	1	0%
その他府県	6	1%
福井県	1	0%
京都府	1	0%
近畿圏	1	0%
色々	1	0%
(未回答)	2	0%
合計	774	100%

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 普段の外出状況

■ 休日の外出状況 (2/3)

- 外出目的を年齢別に見ると、「買い物」外出の割合がいずれの世代において最も多く占める。
- 外出目的を主な外出先別に見ると、「ショッピングスクエア ノセボックス」及び「ジャパン能勢店」では買い物目的の割合が高く、「兵庫県川西市」及び「兵庫県猪名川町」は買い物目的の割合が最も高く、次いで通勤である。
- 出発時間帯を外出目的別に見ると、「通勤・通学」は7～8時台、「買い物」及び「娯楽・レジャー」はともに9～10時台がピークであり、帰宅時間帯では、「通勤・通学」は17時台、「買い物」は12時台及び15～17時台、「娯楽・レジャー」は17～18時台及び21時台がピークである。

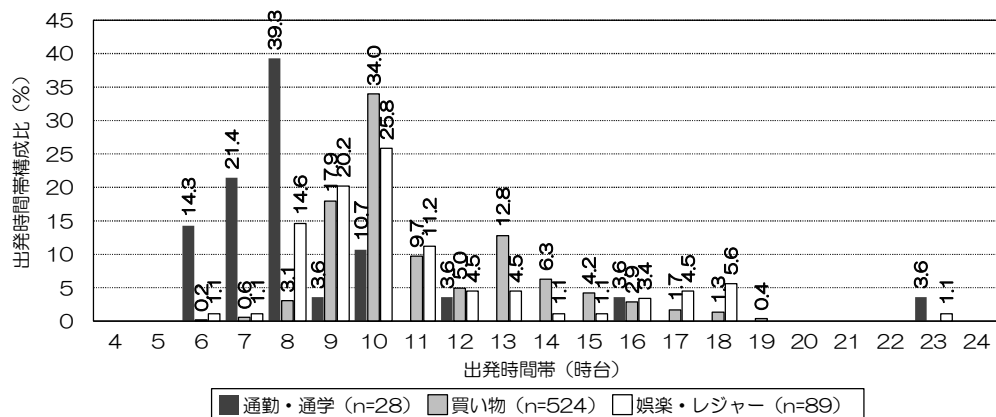
●外出目的 (年齢別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体 (n=779)	4%	0%	73%	3%	12%	8%	100%
24歳以下 (n=75)	7%	0%	57%	1%	20%	15%	100%
25歳～54歳 (n=170)	6%	0%	72%	0%	19%	2%	100%
55歳～64歳 (n=129)	5%	0%	77%	0%	10%	9%	100%
65歳～69歳 (n=108)	2%	0%	80%	1%	7%	10%	100%
70歳～74歳 (n=126)	4%	0%	79%	3%	6%	8%	100%
75歳以上 (n=141)	0%	0%	71%	11%	8%	10%	100%

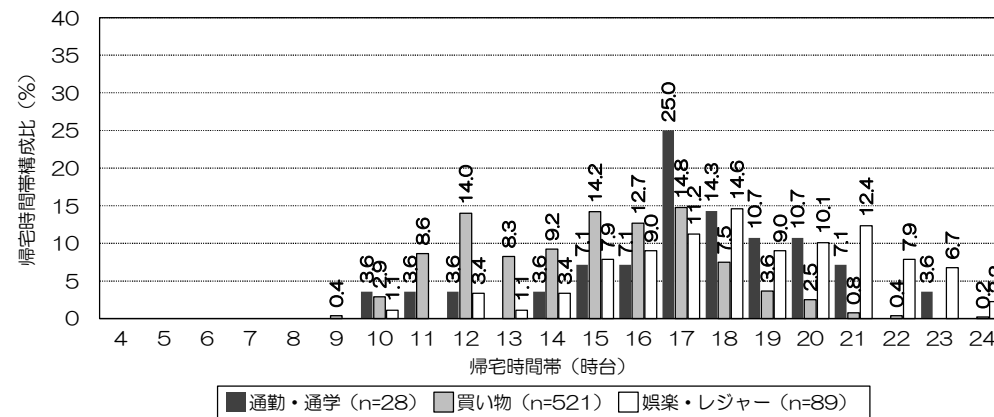
●外出目的 (主な外出先別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計	
全体 (n=779)	4%	0%	73%	3%	12%	8%	100%	
能勢町内	ショッピングスクエアノセボックス (n=196)	18%	3%	59%	12%	1%	7%	100%
	ジャパン能勢店 (n=107)	24%	6%	54%	8%	2%	6%	100%
隣接市町	兵庫県川西市 (n=124)	27%	5%	56%	4%	4%	3%	100%
	兵庫県猪名川町 (n=87)	30%	9%	57%	1%	0%	2%	100%
	京都府亀岡市 (n=46)	28%	2%	54%	4%	0%	11%	100%
大阪府内	大阪市 (n=32)	38%	3%	53%	0%	0%	6%	100%

●出発時間帯 (外出目的別)



●帰宅時間帯 (外出目的別)



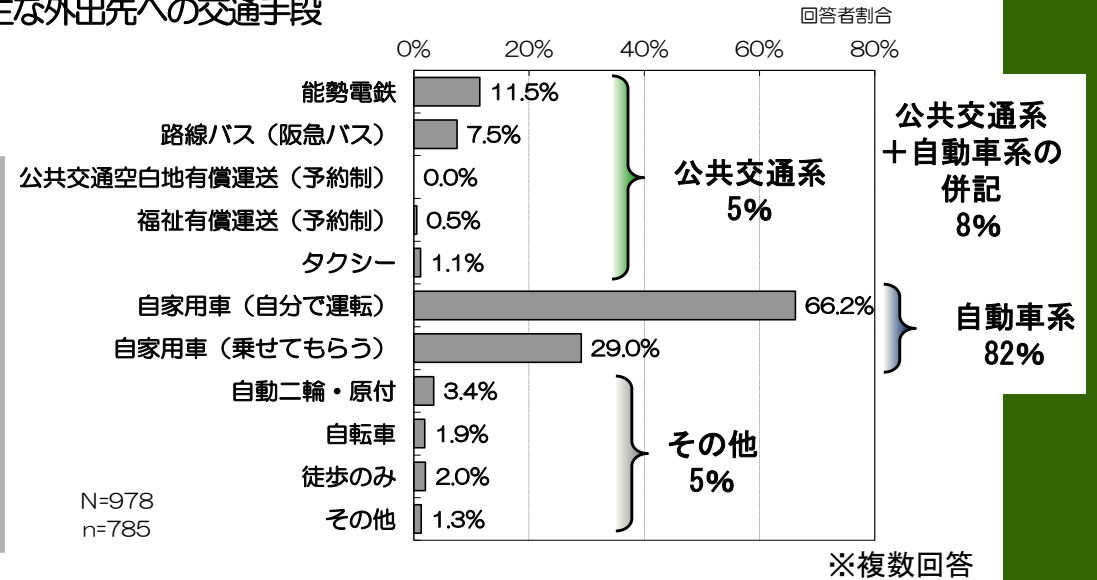
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 普段の外出状況

■ 休日の外出状況 (3/3)

- 主な外出先への交通手段は、自動車系（自家用車（自分で運転＋乗せてもらう））が約82%、公共交通系＋自動車系の併記が約8%を占め、自動車系の分担率が平日よりも高い。
- 主な外出先への交通手段を主な外出先別に見ると、能勢町内は自動車系が約79%～約86%、隣接市町は自動車系が約78%～約100%、大阪市は自動車系が約45%、公共交通系＋自動車系の併記が約39%を占める。

●主な外出先への交通手段



●主な外出先への交通手段 (主な外出先別)

		よく行く外出先への交通手段						
		能勢電鉄	路線バス (阪急バス)	公共交通空白地有償運送 (予約制)	福祉有償運送 (予約制)	タクシー	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (乗せてもらう)
全体 (N=978, n=785)		11%	8%	0%	1%	1%	66%	29%
能勢町内	ショッピングスクエアー ノセボックス (N=246, n=194)	13%	11%	0%	1%	1%	58%	34%
	ジャパン能勢店 (N=135, n=107)	10%	9%	0%	0%	0%	73%	25%
隣接市町	兵庫県川西市 (N=163, n=125)	17%	14%	0%	0%	3%	70%	22%
	兵庫県猪名川町 (N=90, n=86)	1%	0%	0%	0%	0%	71%	30%
大阪府内	京都府亀岡市 (N=52, n=48)	0%	0%	0%	0%	0%	75%	31%
	大阪市 (N=53, n=31)	52%	13%	0%	0%	0%	65%	23%

※ 公共交通系、自動車系、公共交通系＋自動車系の併記、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

		よく行く外出先への交通手段				総回答数	代表交通手段			
		自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他		自動車系	公共交通系＋自動車系の併記	公共交通系	その他
全体 (N=978, n=785)		3%	2%	2%	1%	125%	82%	8%	5%	5%
能勢町内	ショッピングスクエアー ノセボックス (N=246, n=194)	4%	2%	1%	2%	127%	79%	7%	9%	5%
	ジャパン能勢店 (N=135, n=107)	4%	1%	3%	1%	126%	86%	7%	4%	3%
隣接市町	兵庫県川西市 (N=163, n=125)	3%	0%	0%	2%	130%	78%	11%	9%	2%
	兵庫県猪名川町 (N=90, n=86)	2%	0%	0%	0%	105%	97%	1%	0%	2%
大阪府内	京都府亀岡市 (N=52, n=48)	2%	0%	0%	0%	108%	100%	0%	0%	0%
	大阪市 (N=53, n=31)	3%	6%	6%	3%	171%	45%	39%	13%	3%

※複数回答 (主な外出先への交通手段)

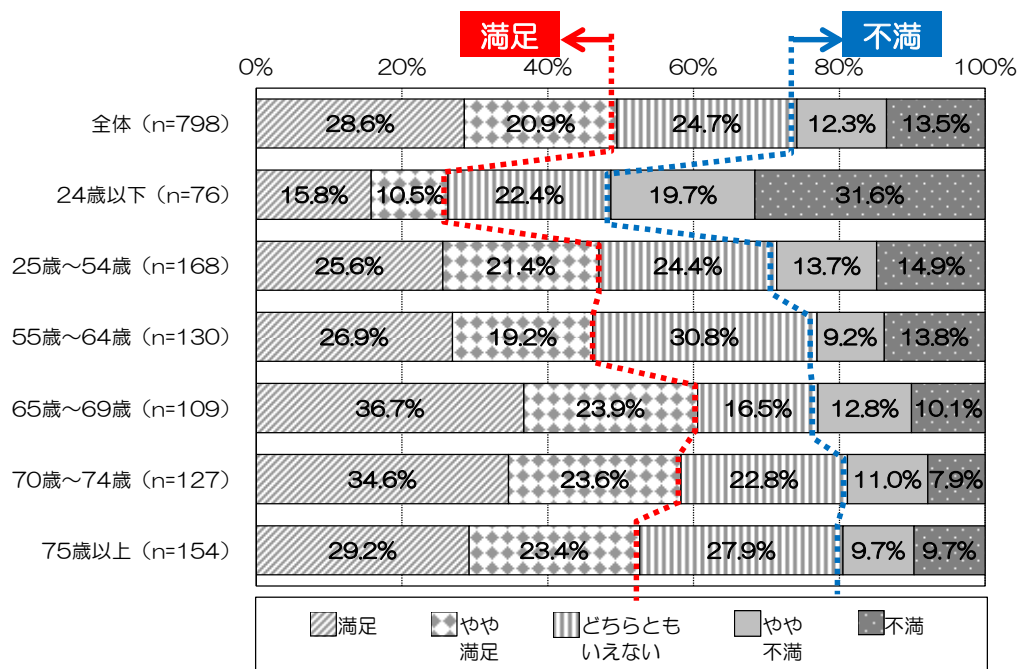
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 普段の外出状況

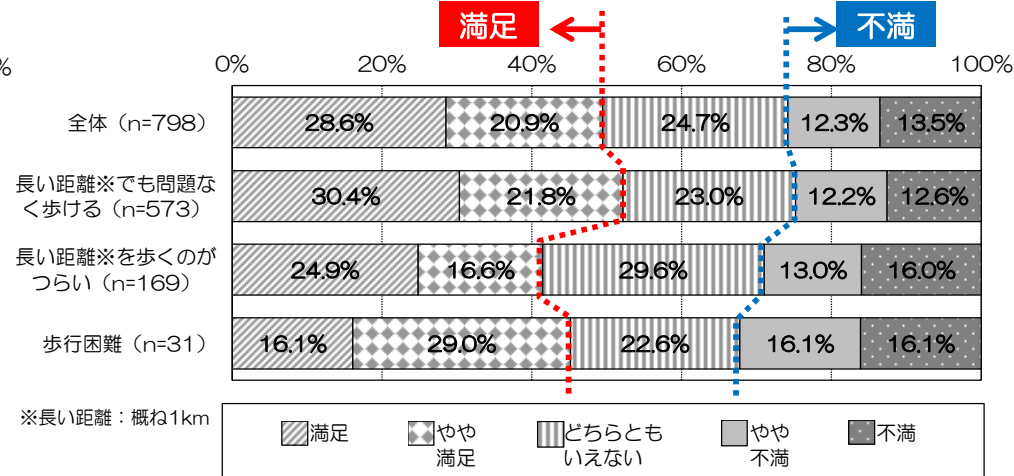
■ 普段の移動における満足度

- 普段の移動における満足度を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が「満足（満足+やや満足）」の割合が高く、「不満（やや不満+不満）」は24歳以下での割合が高い。
- 歩行可能な距離別では、長い距離を歩くのがつらい方や歩行困難な方は、長い距離でも問題なく歩ける方と比べ、「満足（満足+やや満足）」の割合が低く、「不満（やや不満+不満）」の割合が高い。
- 住まいの地域別では大きな差は見受けられない。

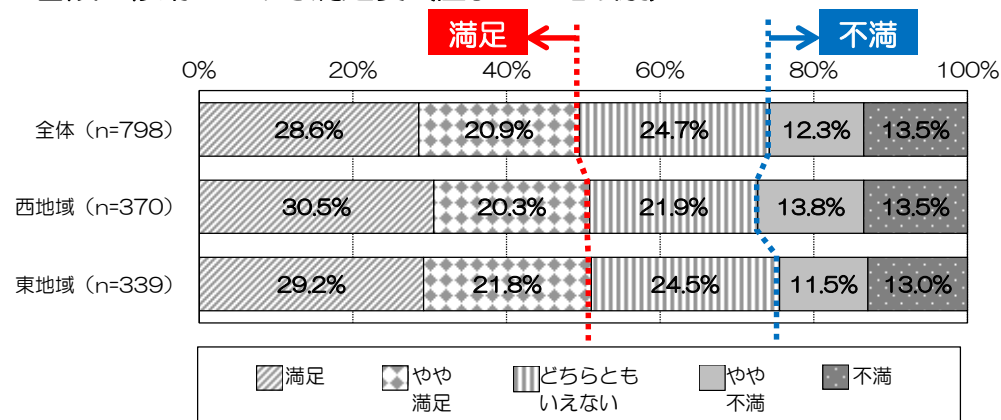
● 普段の移動における満足度（年齢別）



● 普段の移動における満足度（歩行可能な距離別）



● 普段の移動における満足度（住まいの地域別）



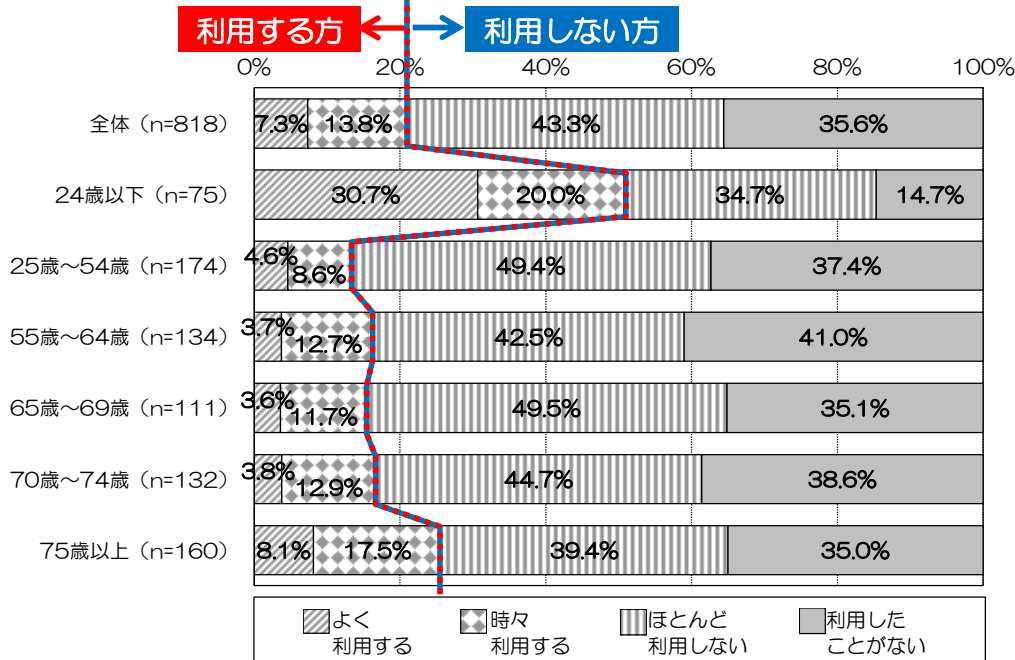
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

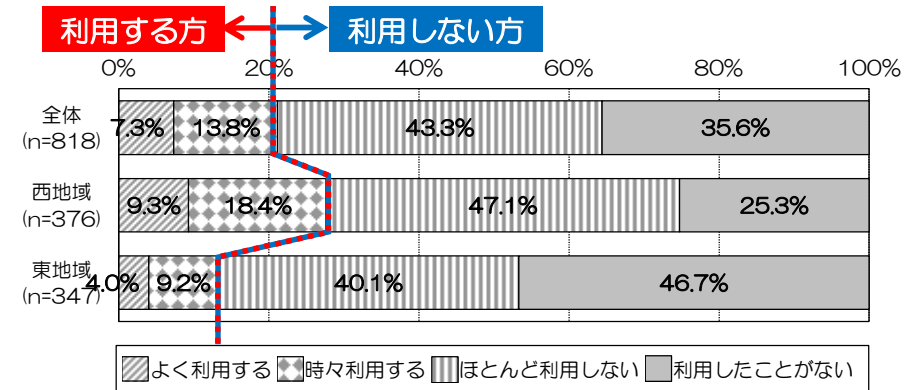
■ 路線バスの利用状況

- バス利用の有無を年齢別に見ると、「利用する（よく利用する＋時々利用する）」は24歳以下で約51%と最も割合が高く、次いで74歳以上が約26%である。他の世代では2割以下である。住まいの地域別では、西能勢線を運行している西地域の方が「利用する」の割合が高い。
- 「利用する（よく利用する＋時々利用する）」と回答した方の年齢を住まいの地域別で見ると、西地域では24歳以下の方の割合が高く、東地域では75歳以上の方の割合が高い。

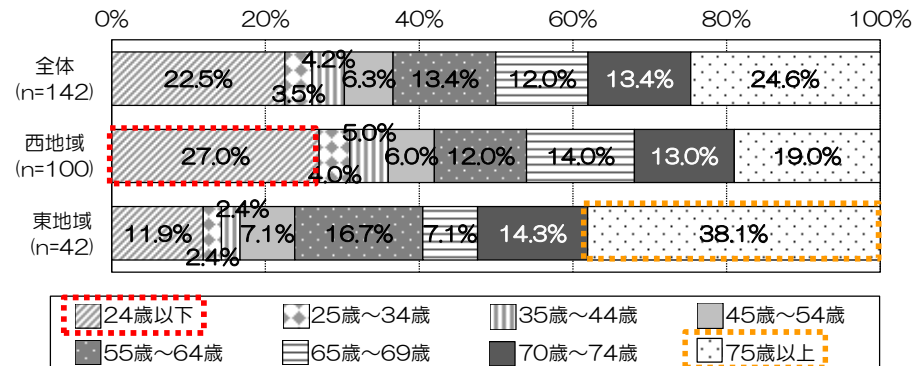
●バス利用の有無（年齢別）



●バス利用の有無（住まいの地域別）



●利用する（よく利用する＋時々利用する）方の年齢（住まいの地域別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

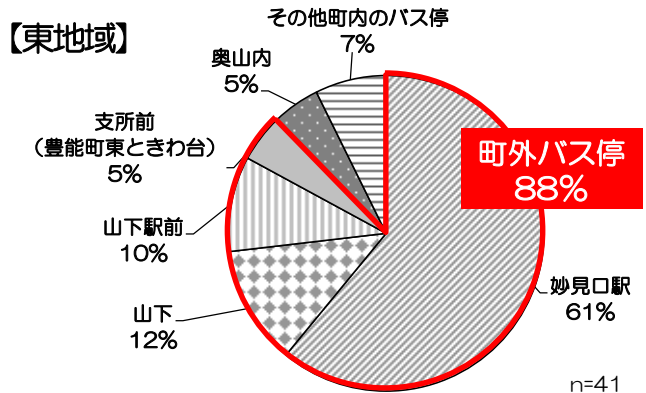
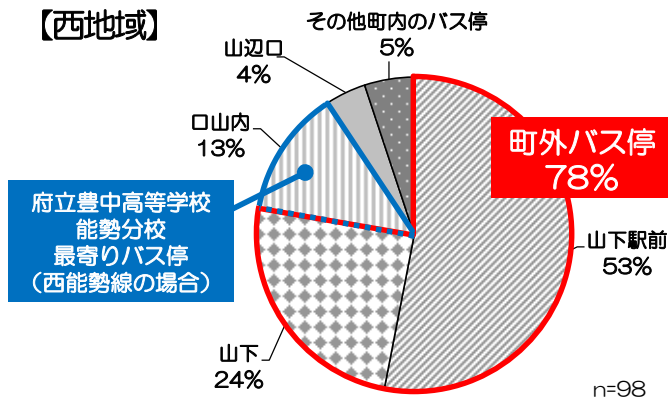
4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

■ 路線バスの利用状況

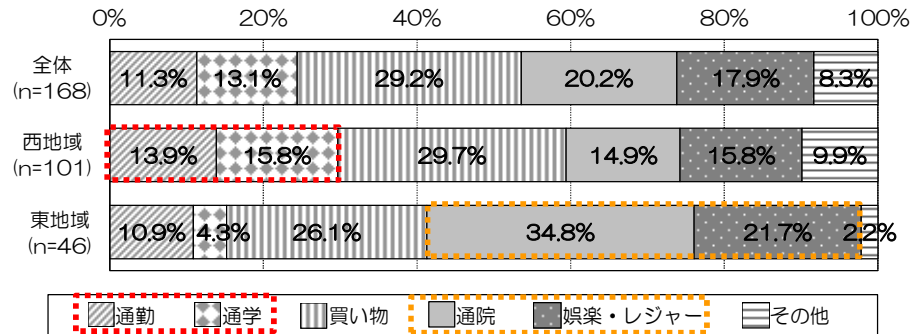
※バスを利用する方が対象

- よく利用する目的地のバス停を住まいの地域別に見ると、能勢町外のバス停が占める割合が高く、西地域約78%、東地域で約88%を占める。西地域では、西能勢線で府立豊中高等学校能勢分校の最寄りバス停である口山内バス停が町内のバス停の中で最も多い。
- 主な利用目的を住まいの地域別に見ると、西地域では「通勤」及び「通学」の割合が東地域に比べ高く、東地域では「通院」及び「娯楽・レジャー」の割合が西地域と比べ高い。
- 利用頻度を住まいの地域別に見ると、西地域では平均週1.5日の利用で、週1日以上利用する方は約38%である。東地域では平均週0.9日の利用で、週1日以上利用する方は約31%である。

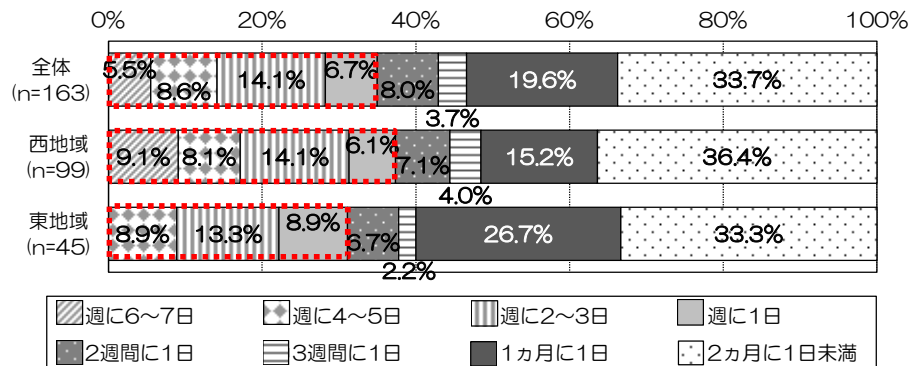
●よく利用する目的地のバス停（住まいの地域別）



●主な利用目的（住まいの地域別）



●利用頻度（住まいの地域別）



バス利用頻度の平均
 全体：週1.3日
 西地域：週1.5日
 東地域：週0.9日

週1以上の利用
 全体：35.0%
 西地域：37.4%
 東地域：31.1%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

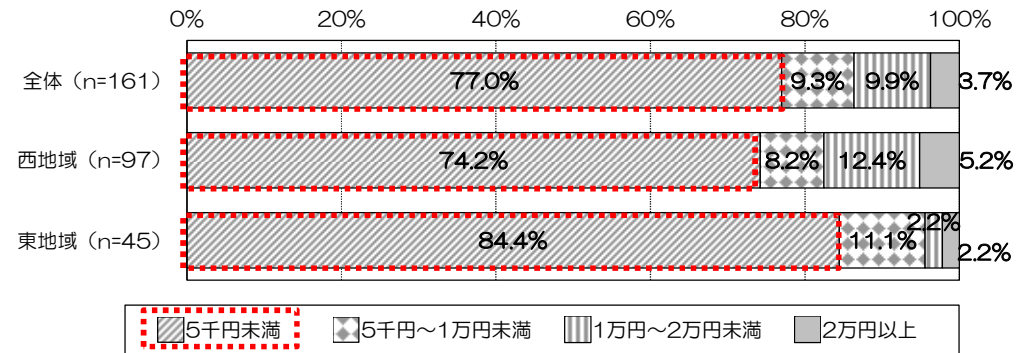
4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

■ 路線バスの利用状況

- 1ヵ月にかかるバスの交通費を住まいの地域別に見ると、西地域及び東地域ともに「5千円未満」が最も多い。「1万円以上（1万円～2万円未満＋2万円以上）」の割合は西地域が東地域に比べやや多い。
- 出発時間帯を住まいの地域別に見ると、西地域では「7時台」及び「9時台」がともに最も多く、次いで「8時台」の順であり、東地域では「8時台」が最も多く、全体の3割以上を占める。通勤・通学時間帯（6時台～8時台）に占める割合は、西地域で約45%、東地域で約52%を占める。
- 帰宅時間帯を住まいの地域別に見ると、夕方の時間帯（15時台～17時台）に占める割合は西地域及び東地域ともに約45%前後である。

※バスを利用する方が対象

●1ヵ月にかかるバスの交通費



【参考】

路線バスの運賃

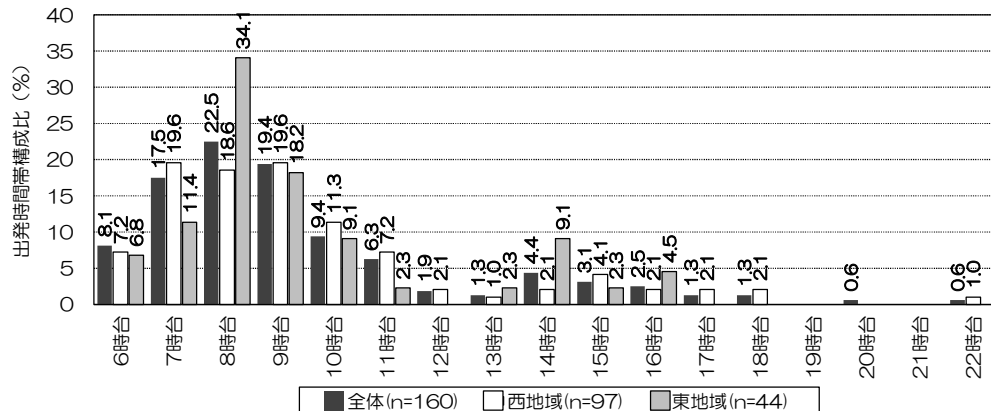
路線	山下駅前までの運賃
上杉口	260 円
清水橋	330 円
汐の湯温泉前	390 円
森上	420 円
大里	470 円
能勢町宿野	490 円
口山内	490 円
能勢の郷	620 円
豊中センター	650 円

・妙見口能勢線

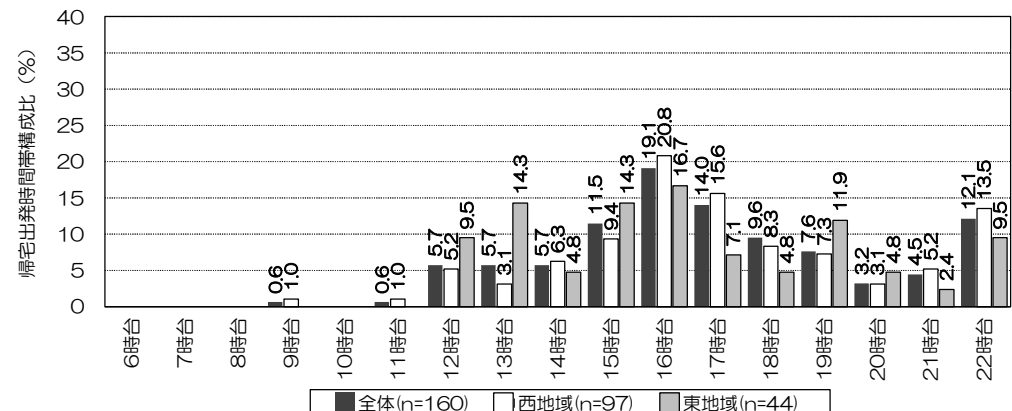
路線	妙見口駅までの運賃	箕面森町※までの運賃
稲地	340 円	450 円
地黄局前	410 円	510 円
北地黄	460 円	570 円
倉垣	510 円	620 円
七面山	560 円	640 円
奥山内	560 円	640 円
奥田橋	620 円	750 円
能勢高校前	610 円	-
大坂峠	680 円	-
能勢町宿野	740 円	-

※箕面森町地区センター

●出発時間帯（住まいの地域別）



●帰宅時間帯（住まいの地域別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

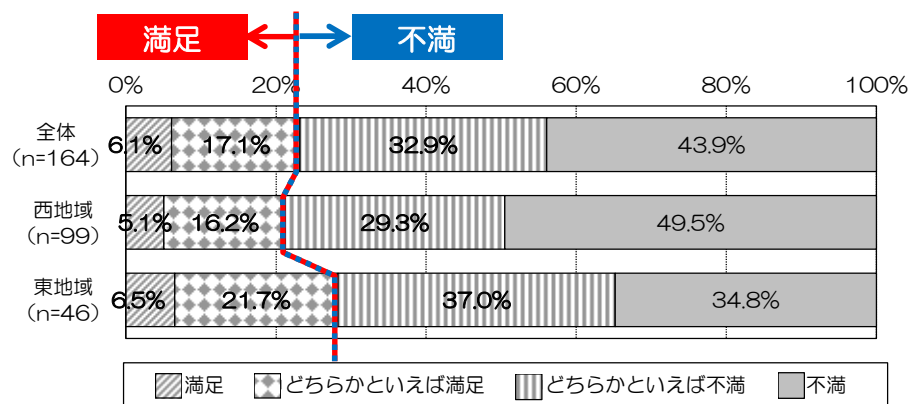
4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

■ 路線バスの移動に対する満足度

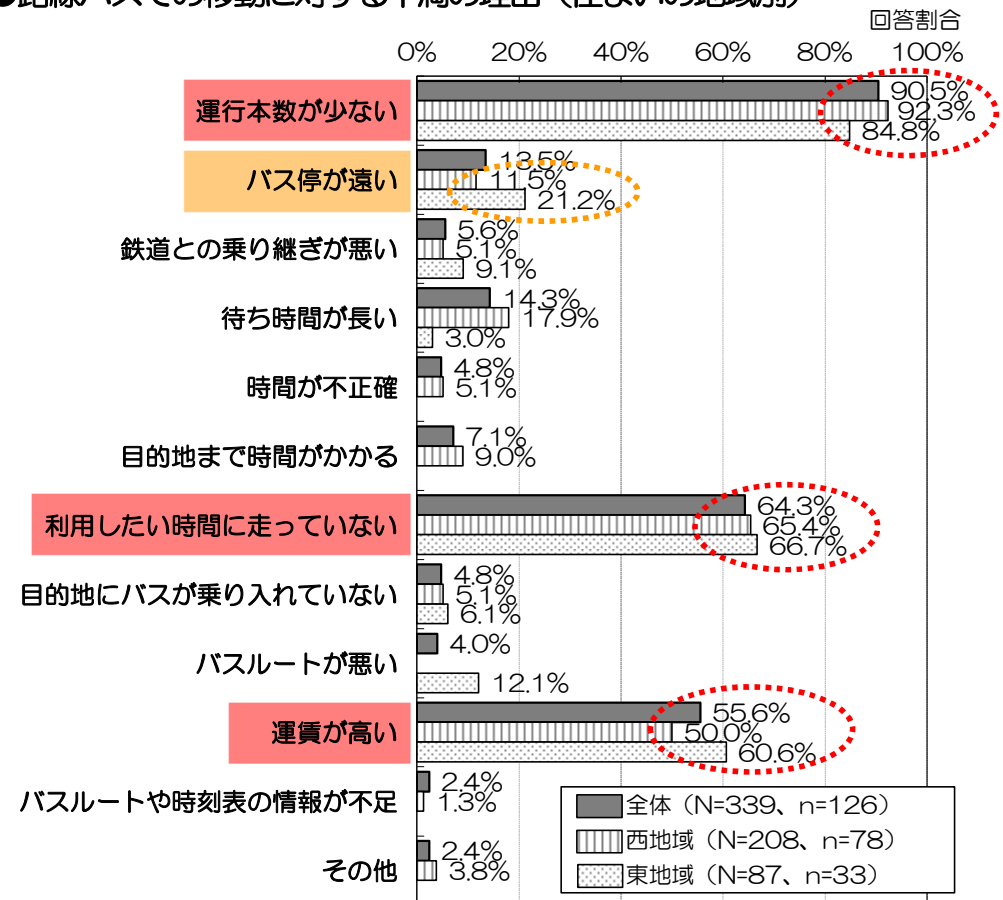
※バスを利用する方が対象

- 路線バスでの移動に対する満足度を見ると、「不満（やや不満＋不満）」が約77%であり、住まいの地域別に見ると、西地域において「不満（やや不満＋不満）」の割合が東地域に比べて高い。
- 不満の理由は、「運行本数が少ない」が最も多く、次いで「利用したい時間に走っていない」、「運賃が高い」の順である。住まいの地域別に見ると、「バス停が遠い」は東地域の割合が西地域に比べて高い。

●路線バスでの移動に対する満足度（住まいの地域別）



●路線バスでの移動に対する不満の理由（住まいの地域別）



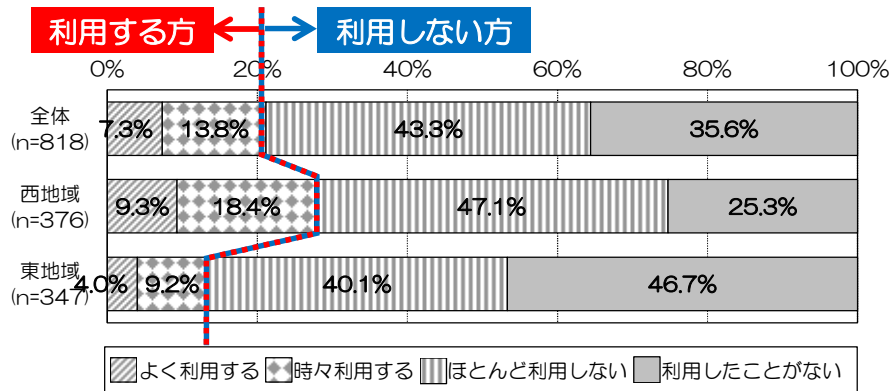
※複数回答（路線バスでの移動に対する不満の理由）
 ※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

■ 路線バスを利用しない理由

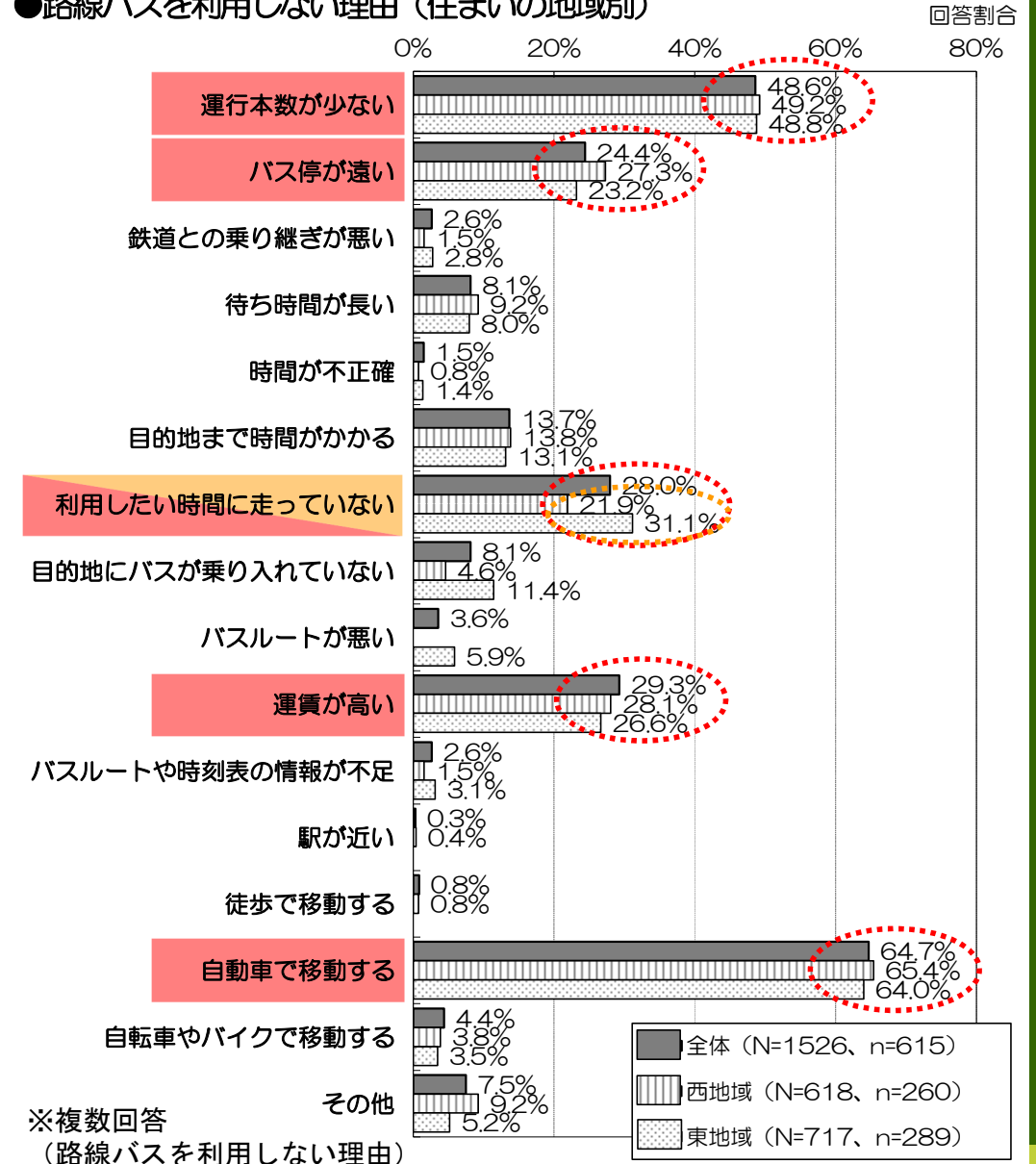
- バスを利用しない方（ほとんど利用しない+利用したことがない）が路線バスを利用しない理由を見ると、「自動車で移動する」が最も多く、次いで「運行本数が少ない」、「運賃が高い」、「利用したい時間に走っていない」、「バス停が遠い」の順である。
- 住まいの地域別で見ると、東地域で「利用したい時間に走っていない」の割合が西地域に比べて高い。

【参考】バス利用の有無（住まいの地域別）



※バスを利用しない方が対象

●路線バスを利用しない理由（住まいの地域別）



※複数回答
(路線バスを利用しない理由)

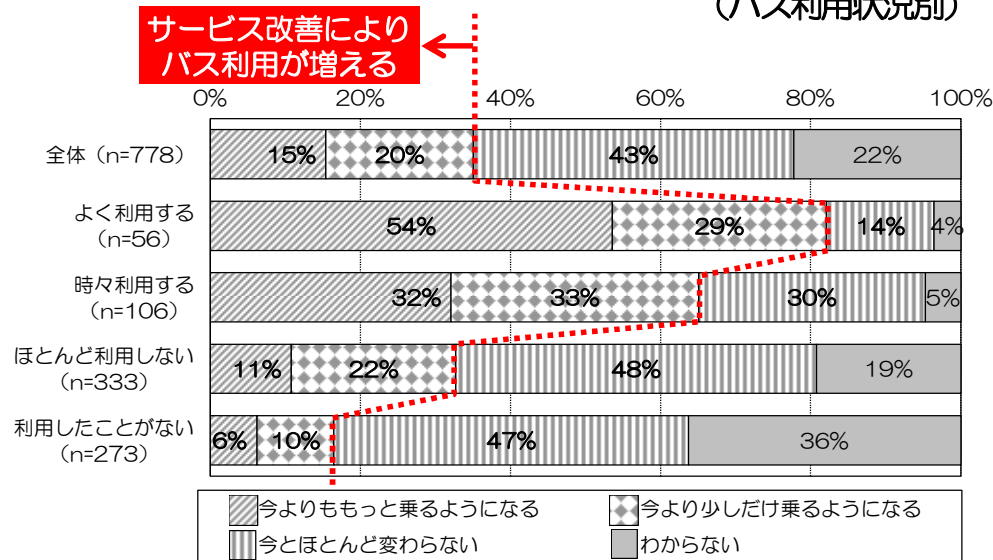
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

サービス改善による路線バス利用意向

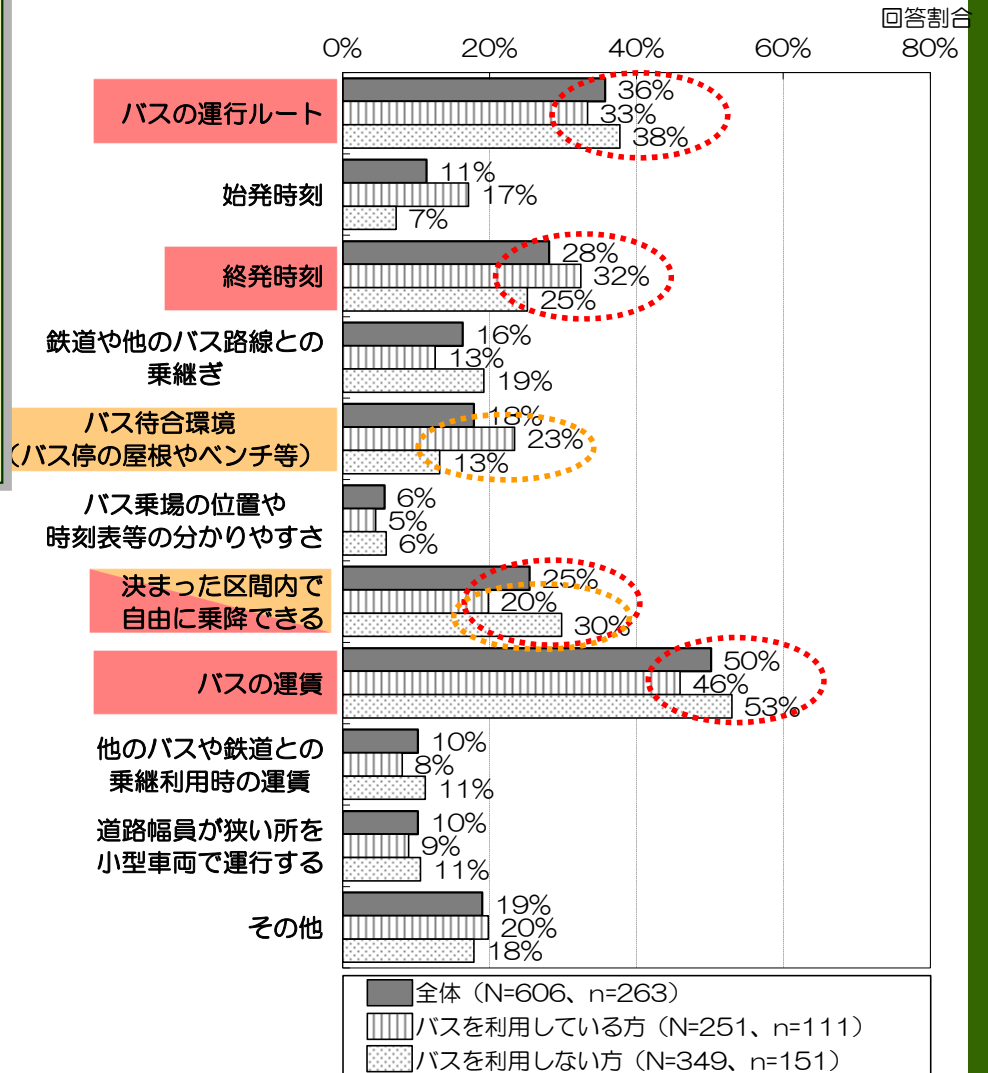
- バスサービスが改善された場合における路線バス利用の変化をバス利用状況別に見ると、バスを利用する方（よく利用する+時々利用する）はバス利用の増加が見込まれる。バスを利用したことがない方は、「今とほとんど変わらない」の割合が約半数を占める。
- 路線バスの利用を増加させるために改善すべき項目を見ると、「バスの運賃」が最も多く、次いで「バスの運行ルート」、「終発時刻」、「決まった区間内で自由に乗降できる」の順である。バス利用状況別で見ると、「バス待合環境」がバスを利用する方の割合が高く、「決まった区間内で自由に乗降できる」がバスを利用しない方の割合が高い。

バスサービスが改善された場合における路線バス利用の変化（バス利用状況別）



※全ての方が対象

●路線バスの利用を増加させるために改善すべき項目（バス利用状況別）



※複数回答（路線バスの利用を増加させるために改善すべき項目）

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

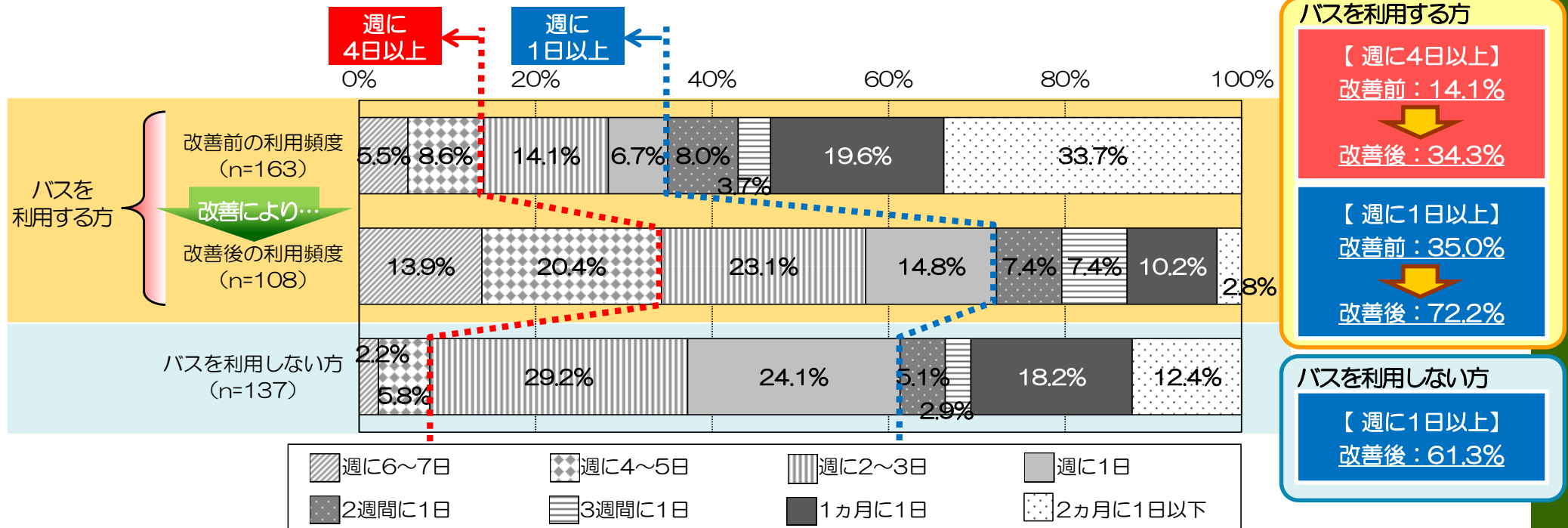
4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

■ サービス改善による路線バス利用意向

※全ての方が対象

- サービスが改善された場合における利用頻度の変化をバスの利用状況別に見ると、バスを利用する方は、サービスの改善による利用頻度が改善前の利用頻度と比べて、「週に4日以上」の割合が約2割、「週に1日以上」の割合が3割以上増加している。
- バスを利用しない方のサービス改善による利用頻度は、「週に1日以上」の割合が6割以上を占める。

● サービスが改善された場合における利用頻度の変化（バス利用状況別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

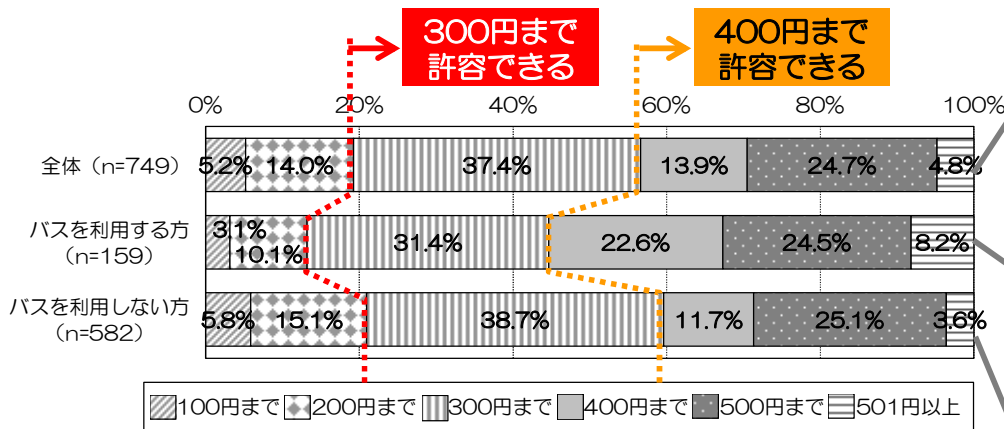
4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

■ バス運賃に対する意向

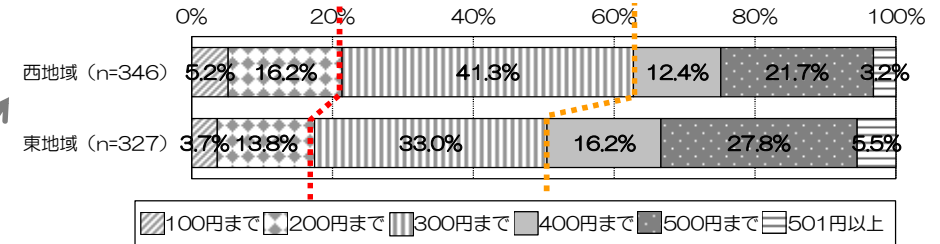
※全ての方が対象

- 利用可能な運賃の上限金額をバスの利用状況別に見ると、バスを利用する方がバスを利用しない方と比べて、許容できる運賃を高く回答している割合が高い。
- さらに住まいの地域別で見ると、いずれの属性においても東地域では西地域と比べて、許容できる運賃を高い金額で回答している割合が高い。

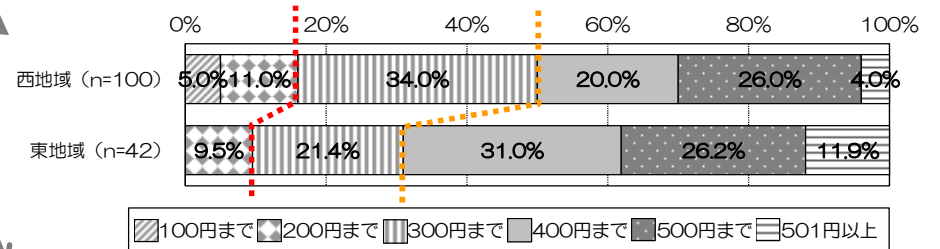
●利用可能な運賃の上限金額（バス利用状況別）



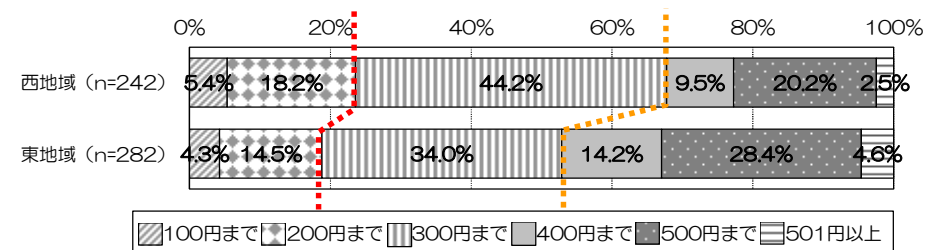
●利用可能な運賃の上限金額：全体（住まいの地域別）



●利用可能な運賃の上限金額：バスを利用する方（住まいの地域別）



●利用可能な運賃の上限金額：バスを利用しない方（住まいの地域別）



【参考】 路線バスの運賃

・西能勢線

	山下駅前 までの運賃
上杉口	260円
清水橋	330円
汐の湯温泉前	390円
森上	420円
大里	470円
能勢町宿野	490円
口山内	490円
能勢の郷	620円
豊中センター	650円

・妙見口能勢線

	妙見口駅 までの運賃	箕面森町※ までの運賃
稲地	340円	450円
地黄局前	410円	510円
北地黄	460円	570円
倉垣	510円	620円
七面山	560円	640円
奥山内	560円	640円
奥田橋	620円	750円
能勢高校前	610円	-
大坂峠	680円	-
能勢町宿野	740円	-

※箕面森町地区センター

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

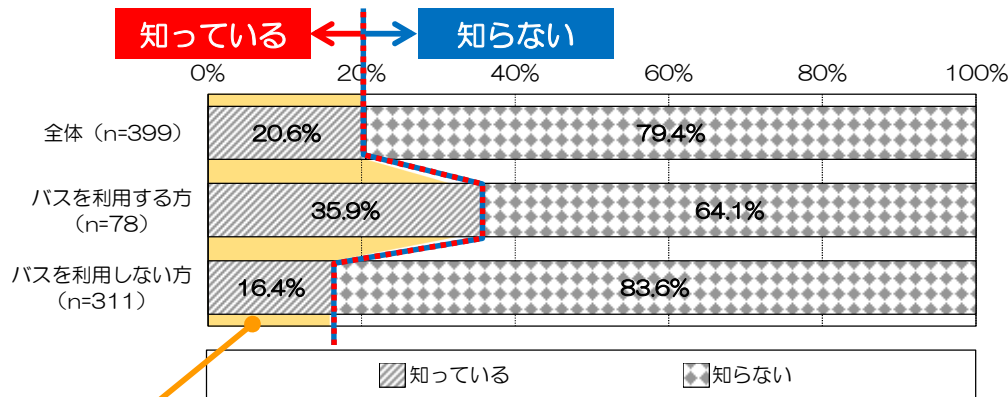
4. 町内の公共交通（路線バス）の利用状況

「hanicaはんきゅうグランドパス65」の認知状況

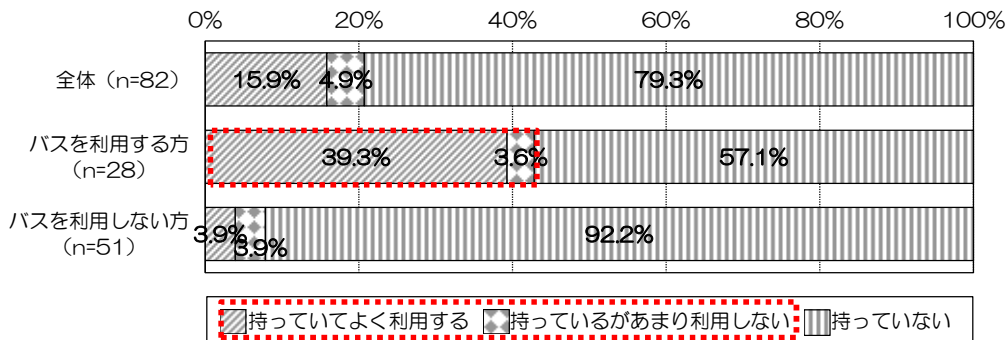
※65歳以上の方が対象

- 65歳以上の方で「hanicaはんきゅうグランドパス65」の認知率を見ると、「知っている」が約21%である。バスの利用状況別に見ると、「知っている」がバスを利用する方で約36%、バスを利用していない方が約16%である。
- hanicaはんきゅうグランドパス65 を知っている方のうち、「hanicaはんきゅうグランドパス65」の利用状況は、バスを利用する方で「持っている（持っていてよく利用する+持っていないがあまり利用していない）」が約43%である。

● 「hanicaはんきゅうグランドパス65」の認知率（バス利用状況別）



● 「hanicaはんきゅうグランドパス65」の利用状況（バス利用状況別）



高齢者向け阪急バス全線フリー定期券 「hanicaはんきゅうグランドパス65」

65歳以上の方を対象とした、阪急バス・阪神バスのすべての区間（※一部路線を除く）で利用可能なICカードの定期券です。

通用期間1年（41,900円）を購入した場合、1日あたり約115円となります。

使い方は、乗る時と降りる時にICカード読取機にタッチ！！



出典：阪急バス株式会社HP

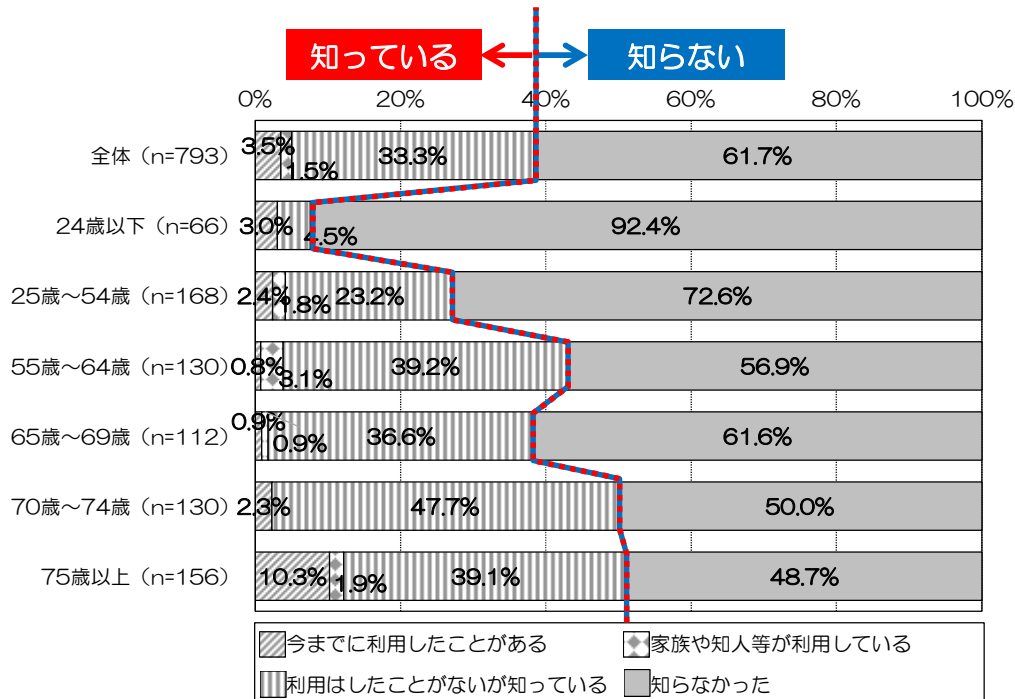
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

5. 公共交通空白地有償運送と福祉有償運送について

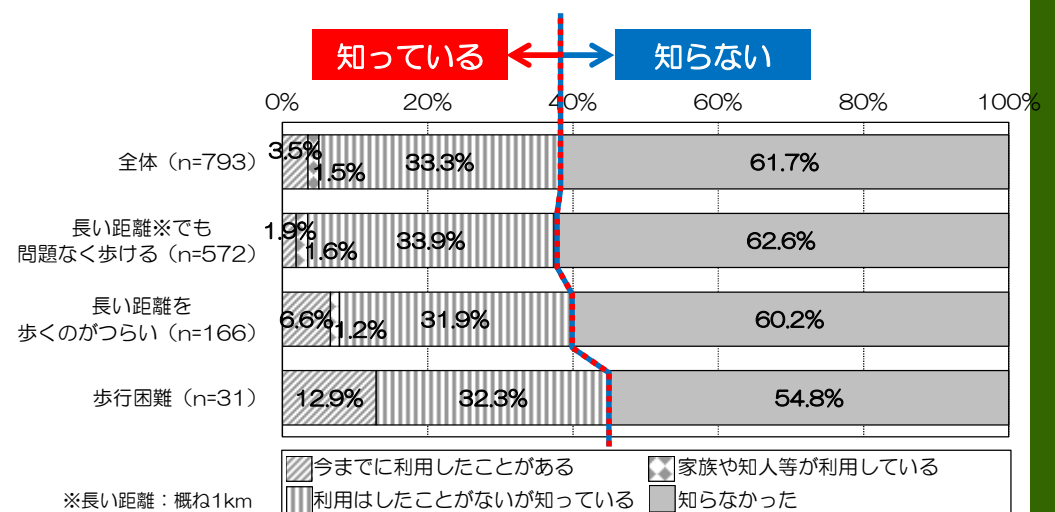
公共交通空白地有償運送の認知状況

- 公共交通空白地有償運送の認知状況を年齢別に見ると、年齢が高齢になるにつれて、「知っている」の割合が高い。「知っている」の割合が高い70歳～74歳で約50%、75歳以上で約51%と約半数である。
- 歩行可能な距離別に見ると、いずれの属性においても「知っている」の割合が約4割である。

●公共交通空白地有償運送の認知率（年齢別）



●公共交通空白地有償運送の認知率（歩行可能な距離別）



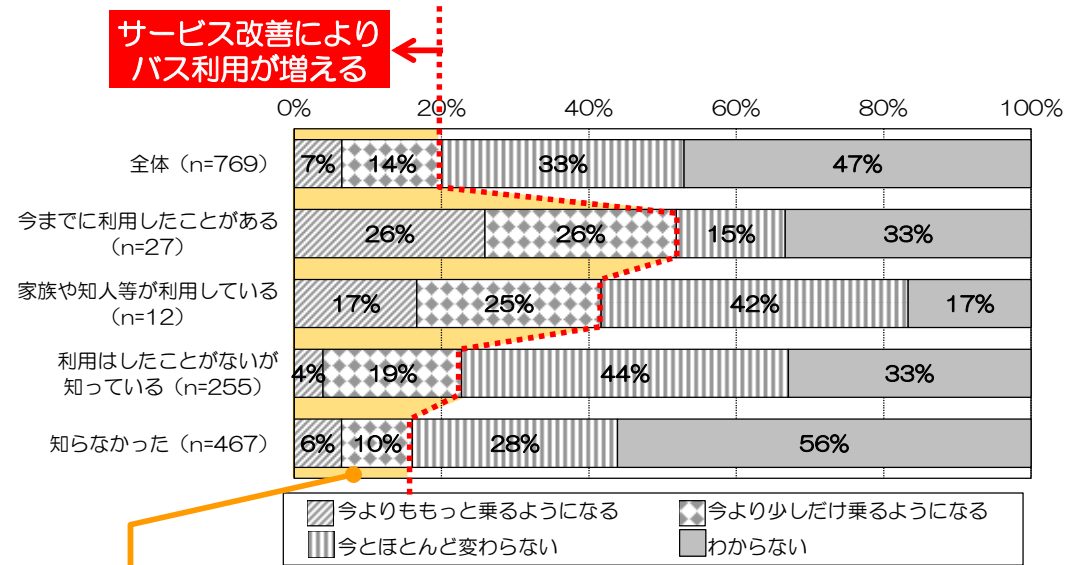
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

5. 公共交通空白地有償運送と福祉有償運送について

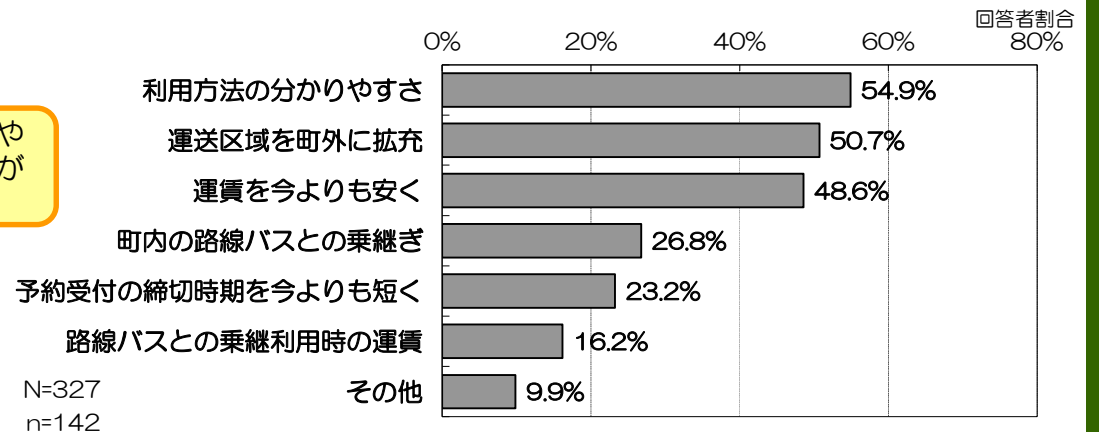
公共交通空白地有償運送のサービス改善による利用意向

- 公共交通空白地有償運送のサービス改善による利用意向を公共交通空白地有償運送の認知状況別に見ると、今までに利用したことがある方による公共交通空白地有償運送の利用増加が見込まれる。家族や知人が利用する方及び利用はしたことがないが知っている方については、「今とほとんど変わらない」の割合が4割以上を占める。
- 公共交通空白地有償運送の利用を増加させるために改善すべき項目を見ると、「利用方法のわかりやすさ」が最も多く、次いで「運送区域を町外に拡充」や「運賃を今よりも安く」の順である。

●サービス改善による利用意向（公共交通空白地有償運送の認知状況別）



●公共交通空白地有償運送の利用を増加させるために改善すべき項目



※複数回答

公共交通空白地有償運送の運送区域が町外に拡充されると便利だと思うけど、町外へアクセスしている路線バスや一般のタクシーはどうなるのかしら？

既に走っている路線バスや一般のタクシーの利用者が減るよね…

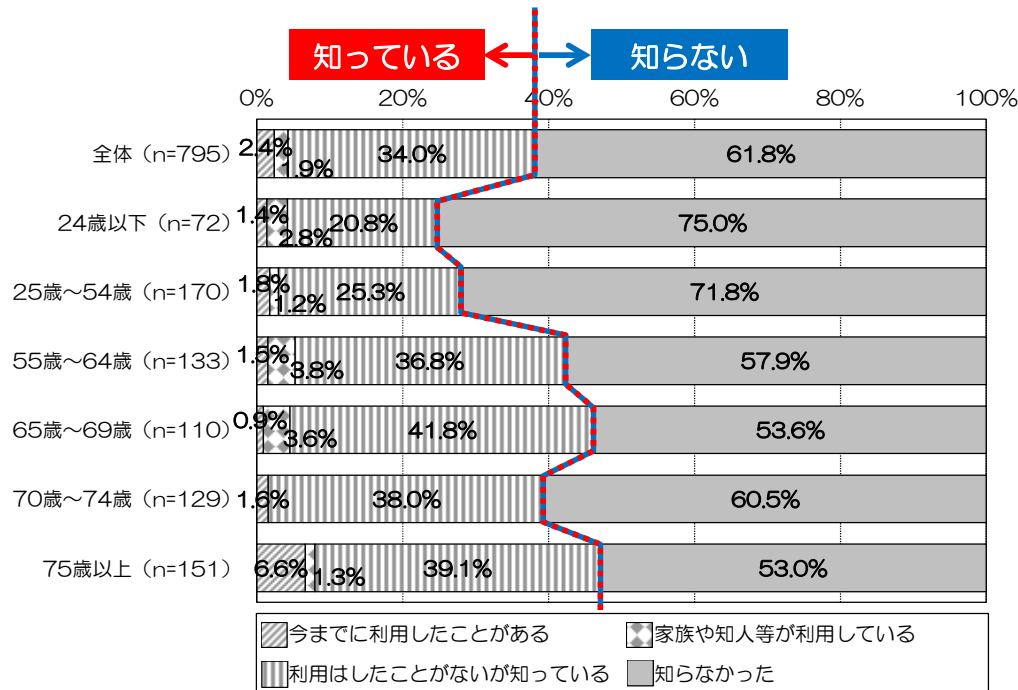


5. 公共交通空白地有償運送と福祉有償運送について

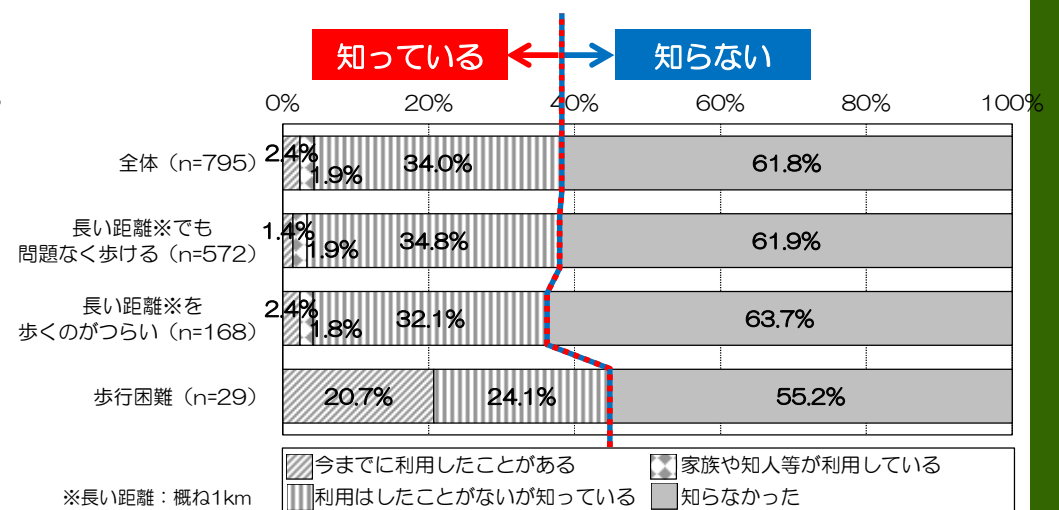
福祉有償運送の認知状況

- 福祉有償運送の認知状況を年齢別に見ると、年齢が高齢になるにつれて、「知っている」の割合が高い。「知っている」の割合が高い65歳～69歳で約46%、75歳以上で約47%と半数以下である。
- 歩行可能な距離別に見ると、いずれの属性においても「知っている」の割合が約4割と半数以下である。

●福祉有償運送の認知率（年齢別）



●福祉有償運送の認知率（歩行可能な距離別）

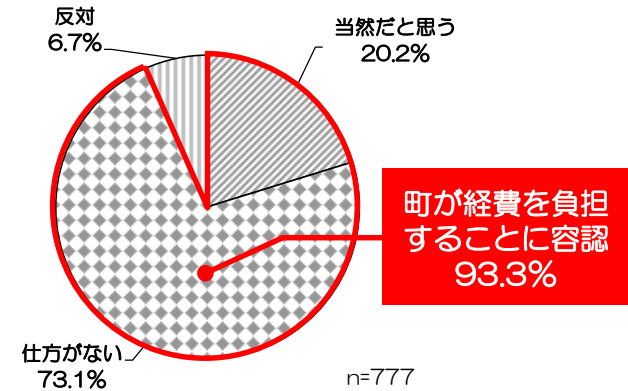


※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担に対する意識

- 路線バスを維持・充実させるために町が経費を負担することについては、回答者の9割以上が容認している。
- 路線バスを維持していくための方法は、「可能な限り町が財政負担すべき」と約6割が回答している。住まいに地域別に見ると、大きな差は見受けられない。

● 路線バスを維持・充実させるために町が経費を負担することについて



● 路線バスを維持していくための方法（住まいの地域別）

	便数や路線を充実させるために、利用者の運賃の値上げをせずに町が財政負担すべき	現状の路線や便数を維持するために、利用者の運賃の値上げをせずに町が財政負担すべき	便数や路線を充実させるために、利用者の運賃を値上げすべき	現状の路線や便数を維持するために、利用者の運賃を値上げすべき	財政負担を下げるために、路線の縮小や減便をすべき	その他	計
全体 (n=731)	27%	29%	5%	9%	14%	15%	100%
西地域 (n=338)	31%	28%	5%	8%	14%	13%	100%
東地域 (n=321)	21%	30%	6%	10%	15%	18%	100%

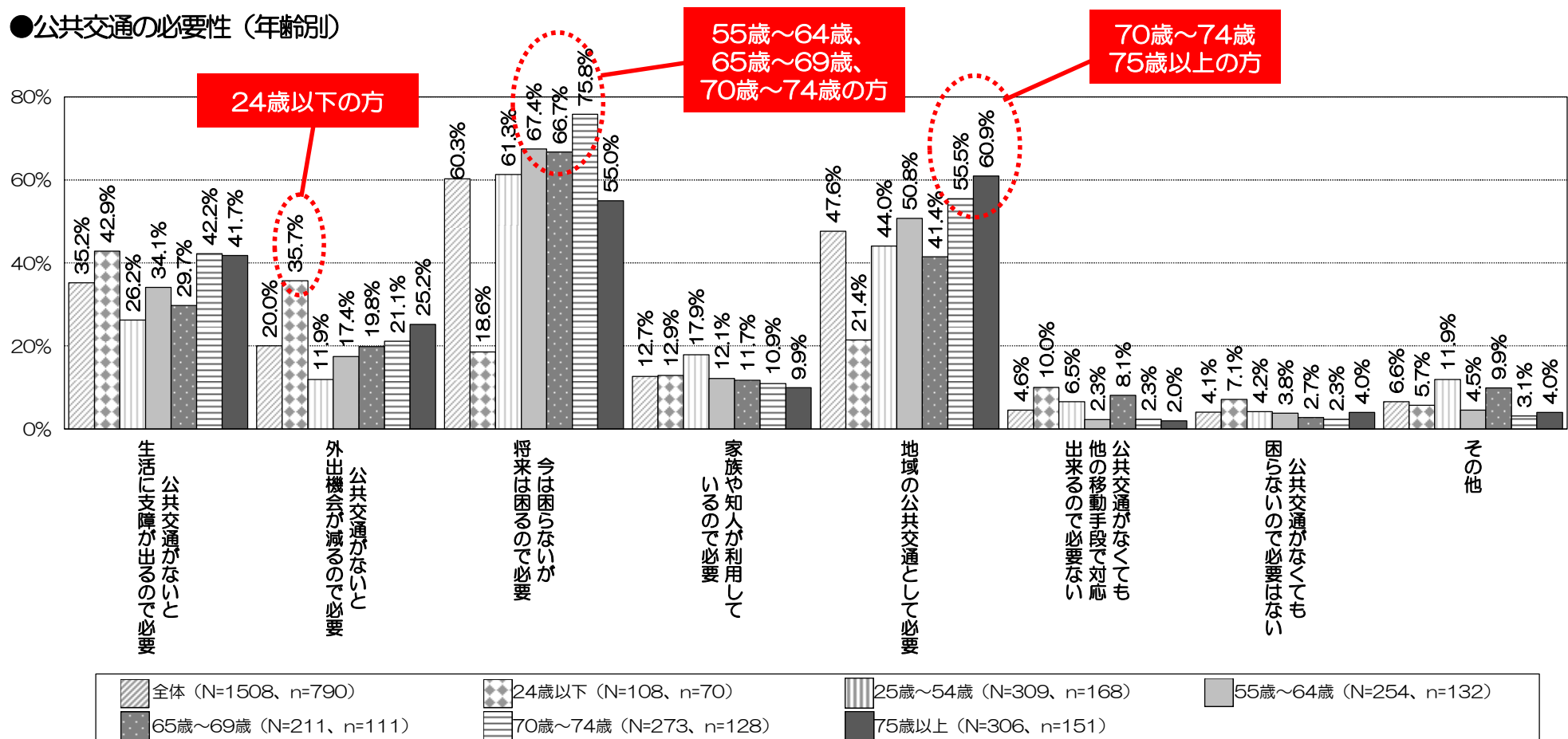
	可能な限り町が財政負担すべき	利用者の運賃を値上げすべき	路線の縮小や減便もやむを得ない	その他	計
全体 (n=731)	56%	14%	14%	15%	100%
西地域 (n=338)	59%	14%	14%	13%	100%
東地域 (n=321)	51%	16%	15%	18%	100%

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

7. 公共交通の必要性

- 公共交通の必要性は、「今は困らないが将来は困るので必要」が最も多く、次いで「地域の公共交通として必要」、「公共交通がないと生活に支障が出るので必要」の順である。
- 年齢別に見ると、「公共交通がないと外出機会が減るので必要」は24歳以下の方の割合が高く、「今は困らないが将来は困るので必要」は55歳～64歳、65歳～69歳及び70歳～74歳の方の割合が高く、「地域の公共交通として必要」は70歳～74歳及び75歳以上の方の割合が高い。

●公共交通の必要性（年齢別）



※複数回答（公共交通の必要性）

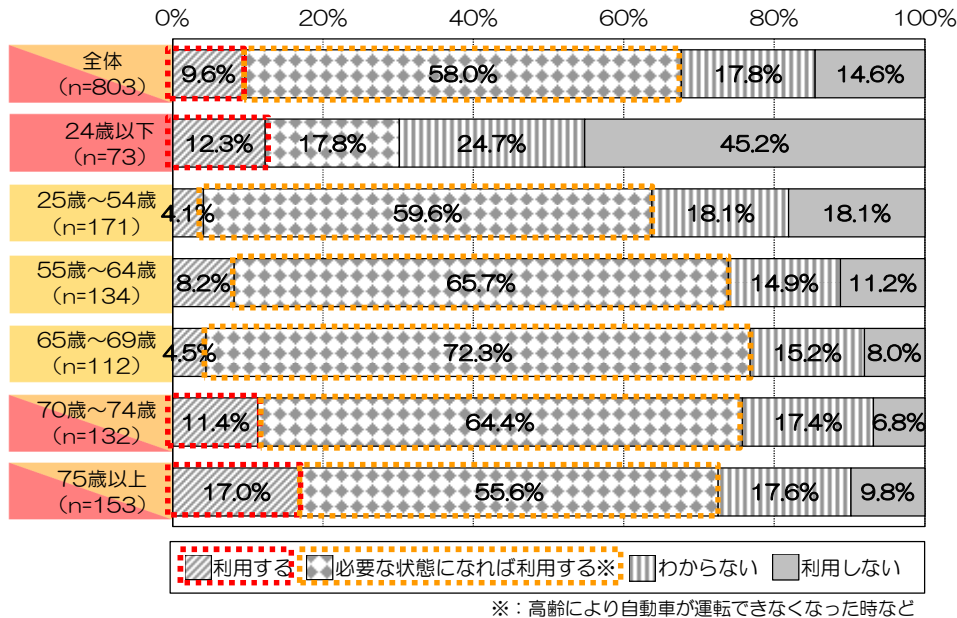
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

8. 新たな交通システムの利用意向

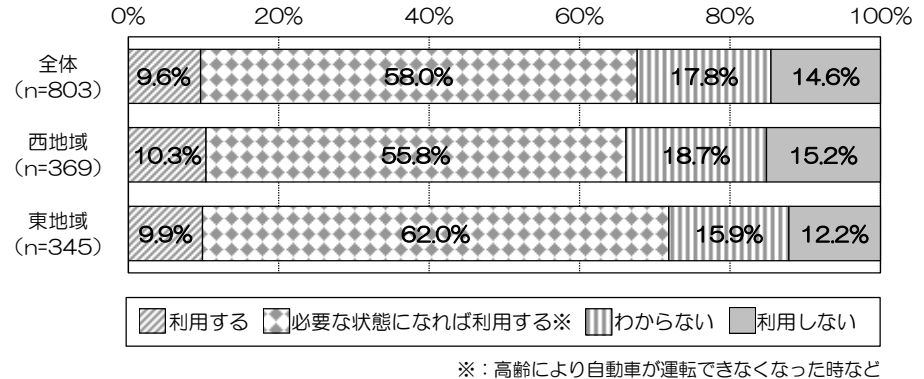
■ デマンドタクシーの利用意向

- デマンドタクシーが運行されるようになった場合における利用意向は、「必要な状態になれば利用する」が約58%、「利用する」が約10%である。
- 年齢別に見ると、「利用する」の割合は70歳以上及び24歳以下の世代で他の世代に比べて高い。「必要な状態になれば利用する」の割合は、25歳以上の世代で約56%～約73%を占めている。また地域別では大きな差は見受けられない。
- デマンドタクシー利用時における希望する行き先は、「買い物施設」が最も多く、次いで「病院」である。地域別では東地域における「病院」の割合が西地域に比べてやや高い。

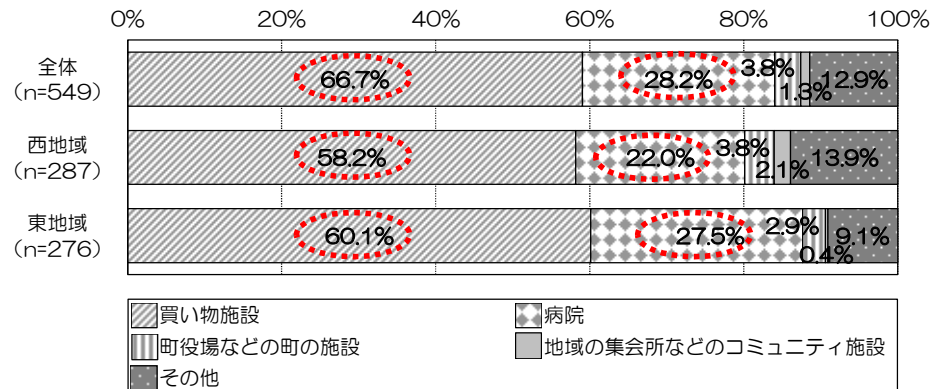
● デマンドタクシーの利用意向（年齢別）



● デマンドタクシーの利用意向（住まいの地域別）



● デマンドタクシー利用時における希望する行き先（住まいの地域別）



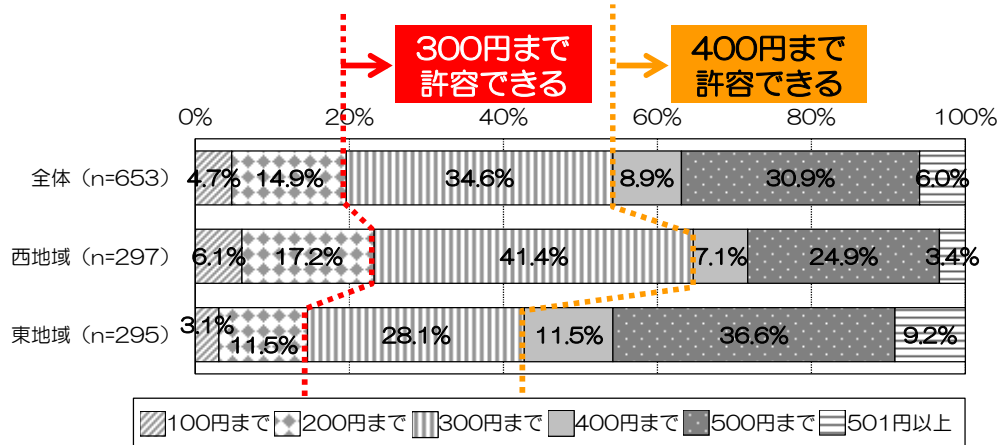
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

8. 新たな交通システムの利用意向

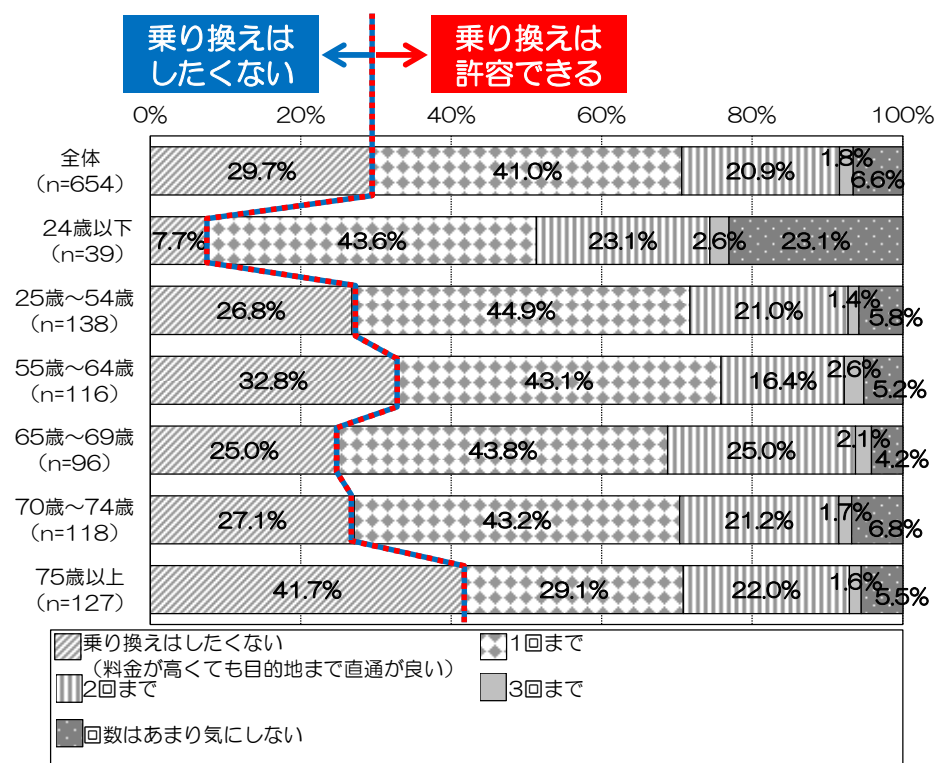
■ デマンドタクシーの料金や乗り継ぎ利用に対する意向

- デマンドタクシーの利用可能な運賃の上限は、東地域では西地域に比べて、許容できる運賃を高い金額で回答している割合が高い。
- 乗り換えが許容できる回数を年齢別に見ると、55歳～64歳及び75歳以上の方では「乗り換えはしたくない」の割合が他の世代に比べて高い。

● デマンドタクシーの利用可能な運賃の上限（住まいの地域別）



● 乗り換えが許容できる回数（年齢別）



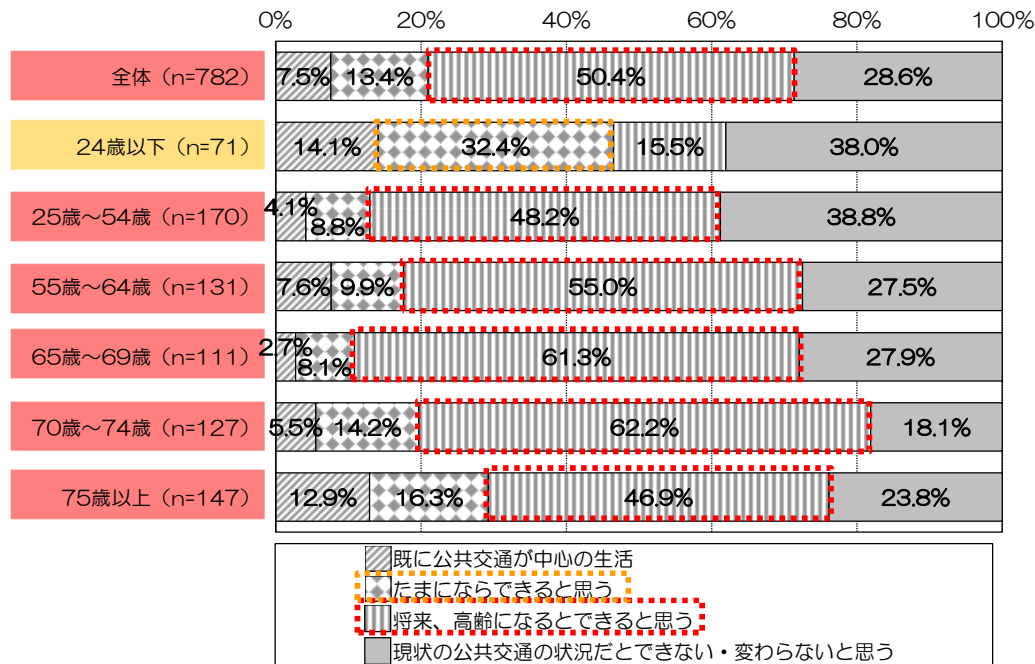
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

9. 将来における外出について

■ 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換意向

- 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換意向は、「将来、高齢になったらできると思う」が約50%を占める。
- 年齢別に見ると、「たまにならできると思う」の割合が24歳以下で約32%と最も多く占めており、「将来、高齢になるとできると思う」の割合が25歳以上の世代で約47%から約62%と半数前後を占める。

● 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換意向（年齢別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある